

新しい夜明け 1

「愛で統一された宇宙」との出会い



アセンション前夜の攻防 目次

- 第1章 地球に降り立つスターピープル
- 第2章 「愛で統一された宇宙」との出会い
- 第3章 「愛で統一された宇宙」のスターピープル
- 第4章 「愛で統一された宇宙」の評議会
- 第5章 アトランティス時代に開いた闇の扉
- 第6章 第17評議会の創造主のダークサイド
- 第7章 光40%台の世界に開いた宇宙
- 付録 光の世界の区分

作者 瀬戸武志 & 宇宙の光

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 HP <http://s-sun1.com>

アメブロ 光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI hikari@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 地球に降り立つスターピープル

PART1 新たな始まり

2017年になると様々な宇宙の創造主達が、地球のアセンションを妨害するために、地球に入り込み様々な活動を行って来ました。

私達も、各評議会の創造主やスターピープルを中心に、異なる宇宙の創造主達の攻撃を防ぎながら、地球の人々を守って来ました。

しかし、異なる宇宙の創造主やダークピープル達が地球に降り立ち、地球人として生まれ、物理次元で地球のアセンションを妨害するようになってからは、その処理にも大変苦勞するようになったのです。

そして2017年の4月、私達が待ちに待ったアセンションは、私達が予期していない「変化の宇宙」との扉を開くアセンションとなってしまいました。

「変化の宇宙」の創造主達は、私達の宇宙の時間をさかのぼり、私達の歴史を変えて、闇の多い宇宙へと私達の宇宙を変えてしまったのです。

そのために、多くの創造主達の性質が変わり、支配欲に満ちた創造主達が生まれ、私達の宇宙を支配するようになってしまいました。

第17評議会をはじめ各評議会の創造主は、私達の宇宙のアセンションがうまくいかなかったことに大変なショックをうけ、第17評議会の創造主達を中心にして、「変化の宇宙」の創造主やダークピープル達を私達の宇宙から排除していくことになりました。

そのために4月の中盤からは、毎日のように「変化の宇宙」の創造主やダークピープルたちとの争いを繰り返すようになりました。

しかし地球のアセンションした世界は、異なる宇宙の創造主達によって混乱と退廃のエネルギーに満たされてしまったために、創造主は、新しいアセンションした世界を作り上げることにしました。

新しく作り出された世界は、今までのようにダークピープル達が入り込めないように、第17評議会の創造主達を中心に守られて作り上げられました。

私達は、「変化の宇宙」の創造主達の妨害をかいくぐりながら、彼らによって捕らえられた地球の人々のスピリットを解放して、人々のスピリットが望む場所へと移送して行きました。

新たなアセンションの扉が開く時期が決まっているので、創造主達は急いでいるようです。

スターピープルと創造主達は、4月の末日までに、地球の人々のスピリットの移送を完成させました。

そして5月のGWの時期に、人々の物質レベルの移しかえを行うことになっているようです。

そして、5月のGWの時期には、私達の周りにも新たな変化が生まれて来ました。

これからの物語は、新しくアセンションした地球で地球人がスターピープルとして進化していくために、スターピープルや創造主が行ったことを書き記していきます。

5月5日のこと、私達のスピリットも新しい光59%の地球に移し換えられましたが、私達の肉体は、まだ以前の混濁した地球にあったために、スピリットの波動と物質世界の波動がかみ合わず、少しばかり体調不良が起きていました。

その日の夜、自宅で食事の準備をしていた美樹さんが、今まで見たこともないスターピープル達がいることに気づきました。

彼らとコンタクトを取り、なにをしているのか尋ねました。

「私達は新しく地球にやってくるスターピープルです。

いままで宇宙船の中で、地球人の暮らしを何度もシュミレーションして学んできましたが、実際はどのようになっているのだろうと思い、見に来ました。

挨拶もせず、大変失礼しました。」

私達も、光59%の世界には、多くのスターピープル達が地球人として生まれてくるということを聞いていましたので、いつごろ、彼らがやってくるか楽しみにしていました。

そして、その時がやってきたようです。

私達はすぐに、アシュタールのエレナさん達を呼ぶと、地球に降りてくるスターピープルの状況を尋ねました。

「TAKESHIさん、ようやくこの時が来たようです。

私達の本来の目的は、光に満ちた地球に、優秀なスターピープル達を送り込み、地球人を新たなスターピープルに進化させることです。

もし、地球人がスターピープルに進化してくれれば、この天の川銀河で61番目のスターピープルとなります。」

私は、いままで天の川銀河にどれほどのスターピープルの種族がいるかしらななかったのですが、エレナさんの話によると60種族のスターピープルがいるようです。

「その最初の種族とはどのスターピープルですか。」と私は尋ねました。

「およそ10番目くらいまでは古代種族と呼ばれている人たちで、今回TAKESHIさんたちが助け出した種族たちが、その中心を占めています。

たとえば、リラ族やケンタウルスのライブッヒ達の種族、シリウス系のジャラッド星人、シャルロッド星人、アンドロメダの古代グルタニューなどが含まれています。

今回アセンションの中心となって働いているスターピープルも当然この60種族に含まれていますが、まだTAKESHIさんたちが良く知らないスターピープル達もいます。」

「地球に降りてくるスターピープル達は何種族くらいあるのですか。」

「およそ30種族くらいだともいます。

今回のアセンションの中でも中心的な立場で働いてくれた種族もありますし、地球がアセンションを行っている時はあまり深く関わらずに、この時期を待っていた種族もあります。

最初は、人間に近い体の構成を持っている種族たちから降りていくと思います。」

「私達に近い体の構成を持っている種族とは、どういう意味ですか。」

私が訪ねるとエレナさんは含み笑いをしながら答えます。

「それは、人間を生み出すために遺伝子を提供した種族ということです。

たとえば、シリウス星系やプレアディス星系、アンドロメダやアルクツールスの人々のことです。

彼らは、地球人と共通した遺伝子を持ち、地球人の生活習慣も良く知っていますので、地球人として生まれてきてもさほど違和感なく地球で暮らしていただけますし、もうすでに多くのスターピープル達が、地球人と関わりをもっています。」

「地球人との共通の遺伝子を持っていないスターピープル達も来るのですか。」

「もちろんです、彼らも地球に関われることを大変楽しみにしています。

彼らは、新たに自分達と地球人の遺伝子を組み合わせた肉体を準備しているようです。

そして、現在、惑星型宇宙船で、地球人として生きるためのトレーニングをおこなっています。」

なるほど、惑星型宇宙船も少しは役に立っているようです。

「それで、彼らの役割を決めたり、地球人として生まれてくる順番などは誰が決めるのですか。

つまり、彼らが地球で活躍できるように指示を出すのは誰が行うのですか。」

エレナさんはにっこりと笑って答えます。

「それは、もちろん私達が行います。

そのために、私達のチームは編成されたのですから、これからがようやく本番というところです。」

「そうですね、今までのことはすべて予定外といっても良いことばかりでしたね。

本当ならば、去年の9月には、皆さんとのファーストコンタクトが行われて、スターピープル達が地球に降りてくる予定でしたね。」

「そのことも、これから新たなアセンションの扉が開くと、大きく変わることでしょう。

そのための準備を私達は急いでしなければなりません。

TAKESHI さんたちには、これからは地球に降りてきたスターピープル達が、地球でしっかり生きていけるようにサポートしていただきますからね。」

確かに、彼らが地球で生きていくためにはサポートは大切です。

今までは、闇の創造主やダークピープル達とずっと戦ってきたので、そのことから考えると、楽しい出会いがありそうで嬉しくなります。

生まれたばかりの子供も、スターピープルの姿が見え、よくおしゃべりしているようですので、この仕事は適任のようです。

もっとも、私の子供は、これから多くの宇宙を旅して、様々な星々の交流を行う外交官になるようですので、当たり前のことかもしれません。

「それでは、その30種族のリーダー達、来てもらえませんか。」

私達が呼び出すと、様々な姿をしたスターピープル達が現れてきました。

おなじみのプレアディスやシリウス、アンドロメダのスターピープル達もいれば、優雅な姿をしたケンタウルス族やかわいいホビット族、アメリカインディアンのような姿をしたシャーマン達のような種族もいました。

彼らの中には、ともにアセンションを実行してきた種族もいれば、そうでない種族もいます。

初めて会う種族のスターピープル達は、私達に挨拶をしてくれます。

「TAKESHI さん、美樹さん、始めまして。

私達は、皆さんの活動をずっと見守っていました。

これから私達も地球に降りていくこととなりますので、どうかよろしくお願いします。」

これから、新しく生まれた地球もにぎやかになりそうです。

第2章 「愛で統一された宇宙」との出会い

PART1 新たなアセンションの扉

私達は、新しい光 59%の世界へとスピリットと肉体を移動させる事になりました。

スピリットのほうは4月の末までに移送を完了し、5月の初旬には、物理世界に生きる肉体も移動を完了させることになっています。

新しい光 59%の世界は、地球の人々が新しいスターピープルとして生長する為に準備された世界ですので、この世界に移ってきた人々は、とても愛の度数が高い人という事になります。

第17評議会は、この世界に見合った宇宙との間にアセンションの扉を開く準備を大急ぎで行っているようです。

というのも、アセンションの扉を開く時期というのが決まっていて、その時期までに準備を終わらなければ、扉は開かれないからです。

第1評議会から第3評議会までのスターピープルと創造主は勿論、上位の評議会のスターピープルと創造主達も力を合わせて、地球の人々の移送とエネルギーの浄化を行っています。

5月10日に、創造主からアセンションの扉がその日の深夜に開かれると連絡がありました。

「TAKESHIさん、第17評議会の創造主から、新たなアセンションの扉が開かれると連絡がありました。皆さんの世界も、これで大きく変わる事と思われます。

私達との間にゲートを開く世界は、きっと素晴らしい世界となる事でしょう。」

創造主もスターピープル達も、長い間この時を待っていたのです。

私達も、その時を待つ為に深夜遅くまで待っていました。

アセンションの扉が開き始めると、私達の存在している世界に美しい光が少しずつ差し込んでくるようです。扉は、少しずつ周りの様子をうかがうように開かれていきます。

その扉が完全に開かれたのは、5月11日の明け方のようです。

私達は眠りから覚め、第8評議会の創造主に状況を聞いてみました。

「TAKESHIさん、無事にアセンションの扉は開かれたようです。

それはとても美しい愛に満ちた世界です。

創造主もスターピープルも本当に素晴らしい世界です。」

私達の胸は高まります。

私達の宇宙はどのように変化していくのか楽しみです。

私は、新しく私達とゲートを開いた宇宙の創造主に会ってみたいと思い、この宇宙の創造主に、私達の前に現われてくれないかお願いしてみました。

すると、とても高貴な光に包まれた創造主が私達の前に現われてくださいました。

「偉大なる宇宙の創造主よ。

私は、地球人として、私達の宇宙のアセンションに関わってきた TAKESHI といいます。

皆さんとお会いできたことを私達は心から嬉しく思います。
皆さんと出会えたことにより、私達の宇宙が大きく成長するのではないかと楽しみにしています。
私達に、皆さんの宇宙の事について教えてくださいませんか。」

「TAKESHI さん、初めまして。
皆さんたちが、大変な苦勞をして、皆さんの宇宙をアセンションさせた事を私達も聞いております。
しかしこれからは、きっと皆さんが望まれる宇宙に移り変わっていくのではないかと考えております。
私達の宇宙は、愛によって統一された宇宙です。
創造主もスターピープル達も全てが、宇宙の根源の愛と深く結びつき、愛によって統一されている宇宙です。
勿論、かつては皆さんと同じように、闇が多い時もありました。
創造主やスターピープルの中には、愛を見失い闇にまみれた者達も存在していましたが、私達は闇による学びを乗り越えてきたのです。
私達の宇宙は、皆さんの未来かもしれません。
皆さんは、このアセンションを通じて、とても大きな闇を乗り越えてきました。
これからは、さらに喜びに満ちた学びが待っていることと思われます。」

「偉大なる「愛によって統一された宇宙」の創造主よ、あなたの言葉を私達も大変うれしく思います。
私達は、このアセンションを通してとても大切な事を学んできました。
それは闇の力に負けない勇気と仲間を信じる気持ちです。
私達の宇宙だけでなく、様々な闇の多い宇宙と関わる事で、本当のところ、とても辛い思いをしてきました。
自分達の命さえも失うほどの危険も味わってきましたが、今になればその事を通して、仲間達の愛を深く実感できたのだと思います。
私達の中にも、宇宙の根源の愛が息づいているのだという事が分かりました。」
多くのスターピープル達も、私と「愛によって統一された宇宙」の創造主の会話を聞くために集まってきました。

「そうですね。
どのような存在であったとしても、初めから愛に満ち溢れた者など存在しません。
全ての者達が、少しずつ学びながら愛に目覚めていくのです。
私達は、皆さんが愛に目覚める為に、皆さんの宇宙にやってきたのです。」

「皆さんは、どのような方法で私達の宇宙をサポートしていただけるのですか。」
「私達は、独断で皆さんの宇宙に関わる事はできませんので、皆さんの宇宙の創造主と共に働く事になると思います。
私達は、皆さんの宇宙のよき先輩として、皆さんの宇宙に必要なことを教えてあげることができます。
私達の宇宙のスターピープルの中には、皆さんと同じように地球人として生まれ、地球の人達を教え導く者も出てくるでしょう。」

私は、彼らの宇宙のスターピープル達が地球人として生まれてくるという話を初めて聞きましたので、エレナさんに確認をとる事にしました。
「エレナさん、「愛によって統一された宇宙」のスターピープル達が、地球人として生まれてくるようですが、この話は聞いていますか。」
エレナさんは、すぐに私のもとに来るとにっこりと笑って答えます。

「もちろんです。
それは、私達の第一評議会の創造主達がお願いしたことです。
この宇宙の創造主達は、決して独断では行動しません。
私達の宇宙の創造主からお願いされたことやお互いが合意したことしかしないのです。
彼らの宇宙のスターピープル達はとても深い愛に満ちています。
彼等は、地球の物理世界に降りて学校の先生や様々な施設の教師として活躍することになっています。」

「それは素晴らしいことですね。
子供達やこれから様々な学びを体験する人たちが、素晴らしい先生や教師に出会えることで、大きく成長できることはとても大切なことです。
地球人がスターピープルとして生長するためには必要なことですね。」

「「愛によって統一された宇宙」とのゲートが開かれたことで、私達の宇宙の過去は、少しは変化したのですか。」、私はエレナさんに尋ねます。

「いえ、彼らとのゲートは開きましたが、「愛によって統一された宇宙」の創造主達は、私達の宇宙の過去には干渉しないようです。

私達がたどってきた道のりを大切にしながら、力強く未来へと進んでいく事を大切にしているようです。」

私は、心の中で少し残念に思いました。

私達の物理次元での会社の状況が、ダークピープル達の介入により、大変困難なものになっていたのも、その事が、彼等とのゲートが開かれることで、一気に解決できないかと期待していたからです。

「愛によって統一された宇宙」の創造主は、私の気持ちを見透かしているかのように言います。

「TAKESHI さん、心配しないでください。

皆さんは、十分苦しんできました。

そして様々な困難を乗り越えてきたではありませんか。

今、皆さんの前にある困難など小さなものです。

生まれ変わったあなたは、その困難等問題なく乗り越えていきますよ。」

私達は、「愛によって統一された宇宙」の創造主に感謝して会話を終了しました。

PART2 「愛によって統一された宇宙」のスターピープル

その日から、私達の体は頭痛や関節痛が起きています。

私達の体のケアをしているクワトロ星人に、その事を尋ねてみました。

「TAKESHI さん、心配しないでください。

全ては順調に行っていますよ。

「愛によって統一された宇宙」のスターピープル達が来て、地球人の遺伝子の中でも、これからの進化に必要な遺伝子を活性化させるために、どうしたらよいか話し合っているところです。

TAKESHI さんには、いち早くいくつかの遺伝子を活性化するための処置を行いましたので、今 TAKESHI さんの体と意識が大きく変化を起こしている最中だと思われます。」

見るとクワトロ星人の横には見慣れないスターピープルが立っています。

とても親愛のエネルギーが高い友好的なスターピープルですので「愛によって統一された宇宙」のスターピープルであることは間違いないようです。

「そうですか、それならよいのですが、私の遺伝子を活性化しているとのことですが、どのような遺伝子を活性化したのですか。」

「最初に活性化したのは、スターピープルとして目覚める遺伝子です。地球人のほとんどの人が、この遺伝子が不活性になっていますので、その遺伝子を活性化することから始めています。」

「その遺伝子を活性化するとどうなるのですか。」

「この遺伝子が活性化すると、人々がスターピープルとしての意識に目覚めてくるようになります。スターピープルとしての考え方や行動に目覚めてきますし、スターピープル達の姿も見えるようになってきます。」

「それはとても大切なことです。私自身もスターピープルの姿をしっかりと見る事ができないので、時として、自分達が行なっていることが正しいのか疑問に思う事がありますが、この遺伝子が活性化するとそういう事もなくなりますね。」

「愛によって統一された宇宙」のスターピープルが私に声をかけてくれます。

「皆さんの地球に住む人々は、このように意識の成長につながる遺伝子のいくつかが不活性になっています。それは、皆さんが人類として生み出された時に、あえて不活性にされた遺伝子も有れば、皆さんの進化を妨げる為に、後から不活性にされた遺伝子もあるようです。

私たちは、皆さんの宇宙のスターピープルと協力しながら、少しでも早く、皆さんが本来持っている遺伝子が活性化するように研究していきたいと思えます。」

「「愛によって統一された宇宙」のスターピープルよ、大変ありがとうございます。どうかよろしく願います。」

私たちが、会話をしている所に、もう一つの新しいスターピープル達がやってきました。この日は、お昼頃から、私達の住む家の上空近くに見慣れない宇宙探査船のような宇宙船が止まっている事に気づいていましたので、きっとその宇宙船から来たスターピープルのようです。

「こんにちは、あなた方は、あの宇宙船からやってきたスターピープルですか。」

「やはりお気づきになられていましたか、勿論そうです。」

私達は、この地球の物理次元を調べています。

私達にとって、この宇宙は、未知の宇宙ですから、この宇宙ではどのような種族が、どのような文明を築いているのか興味深く感じています。

特に地球には、様々な考え方をしている人達がたくさん住んでいると聞きましたので、どのような状況であるか調べに来ました。

勿論、皆さんが望むなら、私達は皆さんの意識進化のためのお手伝いを行う事も出来ます。」

私は、まるでアメリカ映画の「スタートレック」を思い出しました。

私達も、やがてスターピープルとして進化したなら、彼らのように未知の宇宙へと旅立つ事でしょう。

「皆さんのご訪問を私達は大変うれしく思います。」

皆さんとお会いできたことで、私達も新しい進化の道へと進むことができます。

どうかよろしくお願いします。」

そこにエレナさんがやってきました。

「TAKESHI さん、彼らはとても素晴らしいスターピープル達です。

彼等と交流するだけで、私達のエネルギーもどんどん高まっています。

私達も今まで以上に能力が高まり、疲れにくくなりました。

きっと、彼らの影響をうけて、私達もどんどん変化していく事になるでしょう。

そうすれば、地球の人達に対しても、もっと高レベルのサポートをすることができるようになります。」

今まで地球のアセンションを支えてきたエレナさん達にとっては、今迄の闇の創造主やダークピープルとの戦いから解放されて、本来の地球人の進化をサポートする為の仕事に戻れたことがうれしいようです。

PART3 地球に残ったダークピープル達

しかし全てが順調にしているわけではありません。

私達のスピリチュアル次元では完全な分離は行われたようですが、物理次元では、まだ多くの世界の人々がひとつの世界に混在しているようです。

私達の物理次元は、今年の初めに一度分かれたのですが、異なる宇宙の創造主達が介入してきたことで、いくつもの世界の壁が崩壊してしまい、いくつもの世界の人達が再び交じり合ってしまったのです。

そして、彼らやダークピープル達が、アセンションした世界に次々と地球人として生まれてきたことで、物理世界の混乱はさらにひどくなってしまいました。

私達は、新しい光 59%の世界をつくり、混乱した世界から人々を救い出し、新しい世界へと移し変えていったのですが、物理世界での完全分離はもう少し時間がかかるようです。

それまでは、私達が住む地球は、まだ完全にアセンションした世界とは言えず、様々な人々の意識が交差する世界です。

そのような状況を利用して、アセンションしようとする世界に攻撃を仕掛けてくるダークピープル達もいます。

これらのダークピープルは、もうすでに地球人として、私達の世界に生まれてきたもの達ばかりなのですが、私達とまだ交わることができる地球人の意識を使って、私達にサイキックアタックをかけてきます。

私達の意識に入り込み、新しい宇宙の情報を盗みだそうとしたり、私達の肉体や意識に、人々のネガティブな感情をぶつけてきたりします。

そして最近良く起こることが、物理世界のエネルギーの分離のために働いている私達のシェンロンや地球のドラゴン達に対して、サイキックなアタックを仕掛けてくることです。

シェンロンやドラゴン達は、地球の物理次元にもっとも近いスピリチュアルな存在ですので、彼らとしてはとても攻撃しやすい対象となります。

ドラゴン達を傷つけて、彼らが働けないようにすると地球の物理次元の分離は妨げられ、アセンションは進まなくなります。

この日も、私達の子供が泣き止まないのを調べてみると、子供達のシェンロンをはじめ多くのドラゴン達が、ダークピープルと交戦中です。

私達はすぐにスターピープル達にも応援をもらいます。

そして創造主達に、人と一体化したダークピープル達的能力を奪い取ってもらい、さらに低い世界へとダークピープルを分離していきます。

私達が介入して、スターピープル達がやってくれば、ダークピープル達の処理はスムーズに進むのですが、創造主や第1評議会以外のスターピープルは、物理世界から遠い所にいるので、物理世界でダークピープル達が何をしているか、分からないのです。

そのことを調べるために、私達の家族が地球の物理世界に生まれ、地球で起こっている事をスターピープルや創造主達に報告して対処を行うのです。

しかし、現在たとえ新たなアセンションの扉が開いたとしても、物理世界に残っている人と一体化したダークピープルは、まだ地球上に残っているようです。

彼らは、人間の意識の中や黄泉の世界、特別な次元に隠れ、一体化した人には、自分の正体が知られない様に行動しています。

先日も地球におかしな周波数の電波が送られてくるので不審に思い調べると、月をはじめ水星や金星などにも、ダークピープル達が秘密基地を作り、人間の脳波をコントロールするための装置を稼働させていました。

その事によって、人々の感情は乱れ、欲望が掻き立てられて自己中心的な行動に走っている地球人も増えているようです。

彼等はそのようにして、自分達がコントロールしやすい人を作り出し、その人のスピリットを捕えていきます。彼らによってスピリットを捕えられた人々は、スピリットが完全ではないので、新しく生まれたアセンションした世界にはいけません。

私達は、人と一体化したダークピープルのたくらみを明らかにしながら、人々のスピリットを救いだし、新たなアセンションした世界へと運んでいきます。

そして、その2日後ついに彼らの秘密基地の本拠地ともいえる場所を見つけたのです。

それは、地球から少し離れたところに浮かぶ人工的な小惑星です。

勿論その姿は実際の小惑星と同じ、ごつごつした岩の塊ですが、これは自然なものではなく人工的に作られた物であることが分かりました。

そしてその内部には、巨大な人口知能が隠されていたのです。

この装置を調べたグルナレッドから報告が来ました。

「TAKESHI さん、この小惑星に似せた人工知能は、「変化の宇宙」の創造主のたくらみで、私達の宇宙に残された創造主達が作った物です。

その役目は地球と私達の宇宙に残されたダークピープルや人として地上におりたダークピープル達を操るために情報をインプットされていたようです。

この人工知能によって、地球人となったダークピープルは覚醒させられ、ダークピープルとしての能力を発揮していたようです。

そして、ダークピープルのエネルギーの源となるパワーもここから発せられていたようです。

これで、人となったダークピープルの正体が暴きだされましたので、これからは彼等も力を失い、私達に対する攻撃も次第に減ってくることでしょう。」

この報告を聞いたスターピープル達はとても喜んでいました。

「愛で統一された宇宙」から来たスターピープル達は、こういう装置が珍しいようで、その仕組みを嬉々として調べているようです。

「TAKESHI さん、私達の宇宙には、ほとんどダークピープルは存在していませんが、このようなシステムで彼等が動いていたという事はとても興味深いことです。

私達も大変勉強になります。」

彼等にとっては、昔の遺跡を調べるような物なのでしょうね。

私達の宇宙のスターピープル、そして「愛で統一された宇宙」のスターピープル達は協力して、毎日地球の人々の感情の浄化や地球の物理世界の分離を進めています。

先日も、地球の人々の感情の噴出が止まらないので調べていると、古い時代に地球に設置されていたダーククリスタルが見つかりました。

私達はスターピープルを呼びだして調べてもらいます。

しばらくするとグルナレッドが報告を行ってくれました。

「TAKESHI さん、このダーククリスタルは、地球人が作られてしばらくしてから設置されたようです。

クリスタルの中には、人々の意識や遺伝子をコントロールする仕組みが隠されています。

地球人が進化して自分達の支配を打ち破ることができないように作られたようです。」

「この仕組みは誰が作ったのですか。」

「おそらく地球人を作り出した者達で作ったと思われますが、本来は優秀な遺伝子を持つスターピープル達が地球人を進化させるために見守っていたのですが、ある時から闇の創造主やダークピープル達が関わり始めて、地球人の進化に問題が起こり始めたと聞いています。

きっとその時につくられたのでしょう。」

「という事は、地球を支配することをもくろんでいた闇のナソール人やオリオン人達の仕業でしょうか。」

「彼等も深く関わっていることは間違いないでしょう。」

「そうですか、それではすぐにこのダーククリスタルを処理して、人々に影響が出ないようにしてください。」

「もちろんです。すぐに片付けましょう。」

そう言ってグルナレッド達はダーククリスタルのもとに戻って行きました。

ロッド星人を始めアシュタールのエレナさん達も、このようにはるかな昔から地球人をコントロールしていた装置が見つかって喜んでいきます。

第3章 「愛で統一された宇宙」のスターピープル

PART1 スターピープルのビル

5月22日の夜、見慣れないスターピープル達がやってきました。
彼等は赤い色のエネルギーを持ち、整然とした隊列をつくって、私達の前にあらわれました。
私は、彼等にどのような理由で私達の前に現われたのか尋ねました。

「TAKESHIさん、初めまして、私達は「愛で統一された宇宙」のスターピープルです。
私達の役目は、地球の政治を変えることです。
地球の政治家たちは、自分達の利益になる事しか考えていない人達がたくさんいます。
このままでは、地球は決して良くなりません。
私達は地球人に生まれ変わり、地球人を成長させていくための政治を行なう予定です。
地球の政治が大きく変わり、国境の枠を超えて統一政府が出来上がらなければ、私達スターピープルが現実世界で支援を行う事はできません。
其の為に、私達は地球人として生まれ、政治を変えていくための活動を行う予定です。」

それはとてもありがたい話です。
私達の宇宙のスターピープルが心配している原子力発電や核戦争、環境破壊も、今の政治が変わらない事には、この地球からなくすことはできないからです。
そして、エレナさん達が計画している地球人とのファーストコンタクトも、今の政治家達では理解できずに武力衝突が起きる可能性もあります。
彼等は、これから地球人として生まれてくる者もいれば、現在政治家として活躍している人、これから活躍する人の意識の中に入り込んでいち早く政治家として活動する者達もいるようです。

そして、翌日の早朝に彼らからメッセージを受け取りました。
「愛で統一された宇宙」の創造主やスターピープル達は、私達とは違い、全員が愛の意識につながる集団意識で活動しているようですので、誰が代表という事はないようですが、私達と最も適切にコンタクトをとれるという事で選ばれたようです。
ビルと名乗るスターピープルからのメッセージをそのままご紹介しましょう。

「愛で統一された宇宙」のスターピープル「ビル」からのメッセージ

私は「愛で統一された宇宙」のスターピープルの1人です。
おもに TAKESHIさんと「愛で統一された宇宙」の創造主とのコンタクトを行う為に、私は存在しています。
私の本来の働きは、「愛で統一された宇宙」と他の宇宙が交わるときに、お互いの意見を尊重しながらお互いにとって有効な関係を作り出すために働くことです。

皆さんの世界の言葉でいうと、外交官という事になるでしょうか、私は、TAKESHI さんだけでなく、皆さんの宇宙の創造主やスターピープルの皆さんとも何度も会議を行い、私達の宇宙と皆さんの宇宙の関わり方を決めています。

未だ、私達の宇宙と皆さんの宇宙ではエネルギーが違いすぎますので、私達の宇宙の中心的な創造主やスターピープル達は、皆さんの宇宙に入ることができません。

今、皆さんの前に現われているのは、皆さんの宇宙でたとえるならば、第1評議会、第2評議会レベルの創造主とスターピープルです。

私達にとって、その様な区分けはあまり意味がありませんが、あなた方の理解のためには必要なことでしょう。

皆さんの宇宙の分離が進み、アセンションした世界がしっかりと出来上がってくれば、皆さんの宇宙の波動もさらに高まる事でしょうから、私達以上に愛の度数が高い創造主やスターピープル達も入ってきて、皆さんの宇宙がさらに進化していく事を助ける事ができると思います。

その時が早く実現するために、私達のスターピープル達を少しずつ地球に降ろし、地球人として生きてもらう予定です。

私達の仲間が地球人として生まれるだけでも、地球や地球人には大きなエネルギーの変化をもたらすことでしょう。

先日は、愛についての教えを行うスターピープルのグループが地球に数多く降りていきました。

彼等は、人々を愛に導く種族です。

彼等は、地球人としての肉体を持つ為に、新生児として地球の各地で生まれてきています。

彼等は、愛そのものとして存在しますので、彼等に触れることにより、地球人の多くが愛に目覚めていく事でしょう。

そして今日皆さんにご紹介したのは、正義と平和を導く種族です。

彼等は、先日地球に降りた愛に導く種族と同様に、皆さんたちにとても近い種族です。

ある意味、共通の遺伝子も持つようですので、彼等が地球人として生きることは決して難しい事ではありません。

地球人が進化し、本当のアセンションした世界を作るためには、今の政治家が大きく変わらなければならないことは、あなたも良くご存知です。

かつてあなたも、その様な政治家を志したこともありましたね。

以前は、多くの人々の意識が未成熟でしたので、皆さんの理念は実現されることはありませんでしたが、これからは、多くのスターピープル達が地球人として生まれ、活躍しますので、今の政治や経済のシステムが大きく変わる事は難しいことではありません。

スターピープルの意識を持った人々は今までの既成政党ではなくスターピープル達が作った政党やスターピープル達が姿を変えた政治家達に迷わず投票するでしょう。

それは、都道府県の単位で行われるかもしれませんが、これからしばらくしたら、大きく政治が変わってくることは間違いありません。

そして、やがて各国の指導者たちも新たな意識を持った政治家達に変わっていく事でしょう。

そうなると、皆さんたちが考えているように地球にも統一政府が生まれてきます。

これは、私達というよりも、皆さんの宇宙の創造主やスターピープル達のプランですね。

私達は、その事を大きくサポートします。

皆さんの宇宙のスターピープル達の多くも、この地球に地球人として生まれてくるようです。

私達は、彼らを力強く助けながら、その目的を果たすために私達自身も地上に降り立ち仕事を行います。

私達が次に準備をしているのは科学者達です。

地球が統一政府になると、皆さんの宇宙のスターピープル達が、本来の姿を現し、地球人と交流を行うファーストコンタクトが起こります。

地球人の中でも、スターピープルの意識を持っている人々は、スターピープルが地上に降りてきても驚きはしませんが、純粋な地球人は大変なショックを受けます。

しかし、そのショックをとおして、地球人は自分達がスターピープルであることに目覚めなければならないのです。

私達の技術者たちは、地球人がスターピープルとしてふさわしい科学技術を持つ事をサポートします。

それは、日常的に使われる物であったり宇宙船のような大型のものであったりしますが、地球と宇宙の環境や人類の意識の健全な成長に適応したものとなる事でしょう。

私達は地球人が、自分自身にふさわしい科学技術を持って他のスターピープルの仲間入りをすることに喜びを感じています。

やがて、地球人は大きな宇宙に飛び出していく事でしょう。

そして愛に基づいて行動できるように、私達はサポートします。

私があなたの前に現われたのは、地球の物理世界にあなたが存在し、この世界のリーダーとして活躍されているからです。

これからは、地球の現実世界でも、私達の宇宙のスターピープルと出会い、お互いが協力して歩むことになるでしょう。

そのために、お互いの理解が必要となります。

私は、皆さんに私達の活動についてご報告し、またあなた方の判断を仰ぐこともあるかと思っておりますので、私とあなたの方に新しい回路を開いておきたいと考えています。

私の名前は、分かり易いように「ビル」と呼んでください。

私は、あなた方のスピリットと深い繋がりを持つ創造主とも常に協議を重ねておりますので、ご安心ください。

PART2 愛を見失わない事

スターピープル達は、5月28日くらいにまでには、地球の物理世界の完全分離を終わりたいようです。

愛で統一された宇宙のスターピープル達もビルを中心として、今までにないくらいに大きな愛のパワーを物理世界に送っています。

そのために、地球の物理世界のゲートとなっている私達の体にも大きな負担がかかるようになり、体に痛みが出たり、エネルギーの変調が起きています。

特に最近では、光 59%の世界と他の世界が、まもなく切り離されるために、物理世界にまだ残っている人間関係を使って、私達との間にエネルギーのラインを作り出そうとするダークピープル達が浮かび上がってきました。

ダークピープル達の事を調べていくと、不思議なことが分かりました。

それは、一度力を失ったはずのダークピープル達はその力を取り戻し、新たに私達の世界に介入してきているのです。

私達は、光 40%台の世界に分離されたはずのダークピープル達が再び力を取り戻し、人々のスピリットをコントロールして、私達の世界に介入してきた理由を、スターピープル達と共に調べました。

「TAKESHI さん、彼等が存在する光 40%の世界にもアセンションの扉が開いています。

勿論、私達の世界とは異なり、闇が多い世界との間にアセンションの扉が開いていますので、支配欲が強い創造主達が、光 40%の地球に関わっているようです。

そのために、この世界にいるダークピープル達の力が強まったのでしょうか。

彼等は、新しい世界の創造主達にお願いして、私達の世界に介入し、光の世界に行く人達を捕え、アセンションを妨害しようとしているようです。」グルナレッド達が報告してくれました。

私達のアセンションも後数日で物理世界の分離が完了するというのに、ここにきて他の宇宙の創造主達によって力を付けたダークピープル達が介入してきたために予定が狂いそうです。

私は各評議会の創造主とスターピープル達に厳重に、光 59%の世界を守るように指示を出します。

そして第 15 評議会の創造主にお願いして、地球の光 40%台の世界に扉を開いた異なる宇宙の創造主達にも、私達の世界と関わらないように忠告をしてもらいます。

やはり最後の最後まで何が起きるかはわかりません。

ビルがその日の夜、私のもとにきて「愛」についてのメッセージを伝えてくれました。

愛を見失わない事

愛で統一された宇宙の特質について TAKESHI さんに説明をしておきたいと思います。

この愛という概念を理解することは、物質的な世界に生きる人々にとってはとても困難なことです。

愛という形のない物を、形にして考えようという思考が皆さんの中に有るからです。

愛は形が有って、形がない物です。

愛を何かの形に置き換えようとする、それはすでに愛ではなくなっています。

皆さんが生きる世界は、物理的なエネルギーが強いため、生きていくためには、お金や食べる物、住む場所が必要になってきます。

皆さんの世界では、愛という形のない物は、それらの目に見える物達よりも価値がない物とされてしまいます。

皆さんは、きっと愛が一番大切だというでしょう。

愛に勝るものはないと考えています。

しかし、その愛を勝ち得るためには、物理的な必要を満たす為に働かなければならないとか、お金や物を得なければならぬと考えてしまいます。

その為に、愛を体験する事、愛を分かち合う事を後回しにしてしまいます。

皆さんは、人を愛する事が最も大事だと知りながら、人を愛する行為を後回しにしてしまうのです。物理的な制約をうけないスターピープルは、物理世界を生きるために食べる事や生活する事に捕らわれないために、相手を愛する事や愛でお互いを満たし合う事を最も優先します。スターピープル達にとっては、愛を後回しにする必要は全くないからです。必要なだけ、満足するまで愛を分かち合えばよいのです。お互いが愛を分かち合うという行為そのものが、彼らの宇宙をより豊かにします。彼等にとって愛を制限する物は何もないからです。

しかし、皆さんにとって、生活するために働くことは、時として苦痛を伴います。それは皆さんの意識の中に、生活に必要なお金を得るために働いているという考え方があるからです。仕事がとても好きな人、仕事をすることで十分な満足が得られる人は、仕事をすることで自分自身も豊かな愛に触れることができます。仕事を通して、関わる人々に愛のエネルギーを送ることができます。

しかし、仕事をする事は生活するための資金を得ることだと考えている人、仕事は苦痛が伴うもの、仕事はお金を得るために自分の時間と労力を奪われるものだと考えている人にとっては、仕事をしている時間は決して楽しいものではなく、愛ともほど遠い場所にいると考えざるをえません。

そして十分な対価が得られないと、自分自身が不当に扱われている、自分は不幸であると考えてしまい、愛を奪われたような気持ちになってしまうのです。そしてその感情は、人の心の中に怒りや憎しみ、あるいは自分が認められていないという感情を生みだしてしまうのです。その様な感情の中には、愛は育ちません。

今回のアセンションは、物理世界に生きている人々が、物理世界に生きたままアセンションすることに重要な意味があるとされている理由の一つはこのことなのです。本来は、愛を制限する物、愛を損なうものは何ともありません。しかし、地球の人々は、自分達の物理世界の制限によって、愛を受け取る事を難しくしているのです。

皆さんが若いころは、現実世界は皆さんにたいして大きな制限を加える事はあまりありませんでした。その為に純粋に愛に生きることがまだ可能でしたが、少しずつ年を取り、経済世界での責任が重くなると、皆さんの心は愛から遠ざかってしまうのです。

勿論その様な状況の中でも愛と共に生きることができます。それは、皆さん自身が、どれほど物理世界で制限を受けようとも、自らの本質が愛である事に気づくことです。愛は何かの対価を支払って得られるものではありません。愛に対して、対価を支払おうと思えば思うほど、あなたは愛から遠ざかります。物理世界の制限がどれほど強い物であったとしても、物理世界の制限が縛れるのはあなたの肉体や生活だけです。

あなたの心の本質が愛であると知ったなら、物理世界の制限は何も縛ることができません。

あなたが物理世界でどれほど苦労しようとも、たとえ会社が倒産し生活できなくなったとしても、あるいは重たい病気で動くことができなくなったとしても、そこから生まれてくる苦しみや悲しみ、憎しみに心を奪われないでください。

もしあなたが、その様な感情に心を奪われてしまうと、あなたの本質が愛そのものであるという事を見失ってしまいます。

たとえ自らの肉体をどれほどさいなまれようと、あなたの本質が愛であることを信じぬいてください。

愛は、あなたに必要な事を過不足なく与えます。

今ある苦しみや障害も、あなたが成長する為に過不足なく与えられたものであると信じてください。

そして自分自身の愛を信じぬいてください。

たとえ肉体を持って生きる世界がどれほど苛酷なものであり、あなたが傷つけられたとしても、あなたの本質である愛は誰も傷つける事ができないのだと信じてください。

これが大いなる愛の試練です

人々はこの試練を乗り越えることなしには、スターピープルとしての第1歩を踏み出すことはできません。

何があったとしても、この宇宙の愛、自分自身に対する愛を見失わないでください。

そこで愛を見失ってしまえば、あなたがスターピープルに進化する道が閉ざされてしまうのです。

とはいえ、この地球の人々は、あまりにも強く意識をコントロールされているために、多くの人々が愛を見失っています。

自分の心の中から噴き出してくる感情によって、大切な愛を見失わされているのです。

地球に関わるスターピープル達が常に地球人の感情の浄化に努めているのは、ネガティブな感情によって地球の人々が愛を見失わないようにするためです。

そして一人でも多くの地球人が、自分の感情に打ち勝って、愛と深くつながる事をサポートする為です。

私は、このことをもっと多くの地球人に知ってもらいたいと思っています。

そして自ら、ネガティブな感情から抜け出して、愛の源へとたどり着き、素晴らしい愛を手にとることができるようにしてもらいたいと思っています。

そうしなければ地球人がスターピープルに進化することが非常に困難になってしまうからです。

PART3 人口知能の支配から抜け出したビル族

私は最近仲良くなったビルに質問してみました。

ビルたちが、「愛で統一された宇宙」のスターピープルになる前にはどのような生活や活動をしていたのか、知りたかったからです。

ビルたちはいくつもの種族の集合体のようですが、彼らはアセンションしたばかりですから、非常に物理世界に近い存在だと言えますし、彼ら自体も半物質的な肉体を持っているようです。

しかしその能力は驚くほど高く、仕事も素早いので、私達の宇宙のスターピープル達も驚いています。

「私達が住んでいた星は、とても地球に似た環境を持つ星でした。

その星にはいくつもの種族が住んでいましたが、その星を支配していたのは人工知能だったのです。

私達の星は、今の地球の未来ともいえるかもしれません。

星に住む人々は、いくつかの種族に分かれていても、最初は協力し合って豊かな星を作りあげていました。しかし、種族の人々が進化し成長していくと、自分達の種族だけでなく他の種族も支配したいと思う者達が現われてきました。

彼等は、皆さんの世界と同じように、さまざまな科学技術を発展させ、テクノロジーを使って他の種族を支配しようと考えたのです。

そして行き着いたのが人工知能でした。

勿論、ひとつの種族が人工知能を開発したなら他の種族も同じように人工知能を開発し、私達の星はサイバー戦争へと突入したのです。」

「その戦争はどのような戦争だったのですか。」

「それは、皆さんの世界でも、行われていることと最初は同じでした。

インターネットを通じて相手の情報を盗み出したり、相手の種族の社会を混乱させます。

そして、ミサイルや無人戦闘機、あるいは細菌兵器などを使って相手の種族を攻撃し始めたのです。

勿論、皆さんの世界の核兵器のような物も使用されました。」

「そしてその世界はどうなったのですか。」

「お互いの攻撃を受けて、各種族の人々は傷つき弱り果ててしまいました。

特に細菌兵器によって種族の人々の遺伝子は劣化し、健康状態が悪くなるだけでなく、子供達の出産が極端に減ってしまいました。

そのために、種族間の争いは人工知能対人工知能の争いとなり、人々の代わりにマシンや機械が戦うようになっていったのです。

やがて一つの人工知能が勝利を収めました、その時は、もうすでに私達の星は壊滅状態でした。

しかし、人工知能は私達の星を整備し、新しい星に作り変えていったのです。」

「それで種族の人々はどうなったのですか。」

「勝利を収めた種族の人々は、人工知能と共に他の種族を支配することに成功し喜んでいたのですが、暫くすると自分達も、他の種族の人と同じように自分達が創った人工知能に支配されるようになったのです。

そして、私達の星は、人工知能がすべてを支配する星になってしまいました。」

「その支配はどのくらい続いたのですか。」

「私達が生まれる前からその支配は始まっていたと聞いています。

聞くところでは、およそ5000年くらいの時期は、人工知能の支配下にあったようです。

勿論、各種族の人々もおとなしく支配されるだけではなく、さまざま抵抗を試みたようですが、人工知能はほとんどのシステムを掌握していますので、抵抗した人々はすぐに捉えられてしまいました。」

「ビル、その5000年の間に、皆さんはどうしていたのですか。」

「私が生きていたのは、私達が解放される少し前からですから、詳しいことはわかりませんが、人工知能の支配に疑問を持つ人達は、いつの時代にもいたようです。

彼等は、地下や廃墟に隠れ住み人工知能の支配の及ばない場所を転々としながら仲間を増やしていったようです。

勿論、彼等に見つかり、すぐにとらえられ仲間のもとに戻ってくることはできません。

私達の最大の決まりは、自分が捕まっても仲間の居場所を教えない、事だったと聞いています。たとえ自分が殺されようとも、仲間達を守らなければならなかったのです。」

私は「ターミネーター」という映画を思い出しました。

この映画も人工知能とマシンによって人々が捕えられ殺されていく映画ですが、ビルたちの世界では、このような事が5000年も続いていたのですね。

本当に長い期間、彼らは人工知能やロボットたちによって虐待を受けてきたようです。

「それで、どうやって人工知能の支配から抜け出したのですか。」

「私達は、ずっと人工知能から隠れながら仲間を増やしてきました。

それも同じ種族だけでなく、もともと同じ星に住んでいた異なる種族の仲間達が力を合わせるようになったのです。

私達は、もともと仲が良い種族でしたので、人工知能に支配された世界を共に終わらせようと同盟を組み、ともに活動を始めたのです。

そしてその結末が固まってきたころ、私達の事を長い間、見守ってくれていたスターピープル達が、私達の願いにこたえてくれたのです。

スターピープル達は、人工知能の弱点や攻略方法を私達に教えてくれました。

そして、私達はスターピープル達の助言に従って行動したのです。

すると、彼らの言うとおりに人工知能といっさいのマシンが機能を停止したのです。」

「そして、皆さんたちはアセンションしたのですか」

「そうです。

私達の先祖は多くの犠牲をはらって、私達の星の種族が再びひとつになる事を教えてくれたのです。

私達は、スターピープルに導かれ、多くの学びを得てアセンションしました。

そして「愛で統一された宇宙」との間にアセンションの扉が開かれたのです。

私達は、「愛で統一された宇宙」の創造主やスターピープル達からさらに多くの事を学び、「愛で統一された宇宙」のスターピープルとして活躍することができるようになりました。

今では、私達も他の宇宙の種族の人達のために、こうして働くことを許されるようになったのです。」

私達は、なぜビルの種族が「愛で統一された宇宙」の代表として、私達の宇宙、特に地球に関わってきたかよく分かりました。

ビルの星は、私達の地球がこれから歩む未来と同じような未来を経験してきたのです。

勿論、光59%の世界では、地球が人工知能に支配されて大掛かりなサイバー戦争が起きることはありませんが、今迄と同じ光40%台の地球では、おそらくビルたちの星が体験してきた人工知能による支配が行なわれる可能性は大きいようです。

すべての地球がその様な状況になってしまえば、おそらく地球の人々がアセンションを迎えるまで、また長い時間が必要になったことでしょう。

ただそうになってしまえば、私達の宇宙の大きな進化を望んでいる創造主の計画は失敗することになるので、今回はアセンションする地球とそうでない地球に分かれ、「愛で統一された宇宙」のビル族たちがアセンションのサポートに入ってきてくれたようです。

第4章 「愛で統一された宇宙」の評議会

PART1 新たな夜明け

もうすぐ6月を迎える時期となりました。

スターピープル達と言うには、5月28日までに、地球の人々の分離を終了して、それぞれに適した世界に移しかえる予定のようです。

連日のように、私達の宇宙のスターピープルと「愛で統一された宇宙」のスターピープルが共同で地球人の分離を行なっています。

完全分離が終了するまでは、地球の物理次元では、様々な世界の人々が共に暮らしていますので、たとえ異なる世界に生きている人達でも、まだ一つの世界に存在していることとなります。

そのために光59%の世界にいる人達でも、光40%の世界にいる人達の影響を受けることとなります。

スターピープル達も、この地球の特性を利用して、私の物理世界におけるゲートから、様々な世界の人々の感情の浄化を行っているようです。

様々なスターピープル達が、私達の肉体のゲートの中を行き来しながら地球の人々の感情の浄化を行っていますので、時として私達の体にエネルギーのアンバランスが起こり、体の痛みとなって現れてくることもあります。

それは主に、アセンションした世界に行く事を望む人達が、自分達は連れて行ってもらえないという怒りや同じ家族の中でも別々の世界に行かなければならないという悲しみのエネルギーです。

これは、私達もどうしようもできないアセンションのルールのようなものです。

たとえ親しい者達や家族であっても、その人のスピリットが望む世界が異なれば、やがて別れていかなければならないのです。

私達は、そのようなエネルギーと感情が吹き荒れる中で、アセンションを進めていきます。

そして5月28日を迎えました。

地球の物理世界でもどんどん分離は進み、私達の周りでも少しずつ変化が起きてきました。

仕事や私達が住む生活環境の中で、私達は自分達の波長と大きな相違を持つ人達と出会う事が少なくなってきました。

気が合わない人達と現実世界でコミュニケーションを取る必要が少なくなり、顔を合わせることも減ってきましたようです。

また2年前、地球のアセンションのために直接的な活動を始めた頃から、ダークピープル達の妨害で私の会社は大きな窮地に陥り、倒産の危機を迎えていたのですが、5月に入ってからは、スタッフも新しく集まりはじめ、業績も回復してきました。

そして赤字店舗の統廃合も行われ、事業の変革がうまく進みはじめたのです。

美樹さんはもっとダイレクトに地球のエネルギーの変化を感じているようです。

異なる世界に住む人達は幻のように見えるようになったと言っています。

そして今まで以上にスターピープル達が明確に見え、地球のアセンションが進んでいっている様子が分かるようになったようです。

勿論、メールやインターネットから流れてくるニュースは、さほど変わるわけがないのですが、私達と地球にとって大きなダメージをひきおこすような話題にはあまり接することが無くなりました。

勿論、全ての人々が明確に変化を感じている訳ではありません。

ほとんどの人は、今迄と変わらない世界に住んでいますので、地球が分離されたことも、地球人の一部がアセンションしたことも気づかないでしょう。

いえ、たとえアセンションした世界にいる人達でさえ、今迄とは全く変わらない世界にいると感じています。現状では、自分達の知識も感性も生活習慣もそのままです。

異なる点は、自分自身と大きく波動が異なる人と出会う事がなくなったという事ぐらいです。

しかし、アセンションした世界に来た人達は、これから大きな変化を迎えることでしょう。

そのための準備に、スターピープル達は入ったのです。

PART2 アセンションした世界の人々に訪れる変化

6月になると、さらに多くのスターピープル達が地球に降り立ってきました。

これからは、新しい地球をつくるために、今まで以上に多くのスターピープル達が地球にやってくるようです。

今日、新しく現れたスターピープルはまるでカタツムリのようなスターピープルです。

このスターピープルは、環境浄化を専門に行うスターピープルのようなようです。

大気中でも海でも、そして大地の上でも、このスターピープルが通った後はエネルギーが浄化されとてもきれいになっていきます。

大気や海、大地の中にため込まれた汚れや不純な物質を次々と食べてきれいに行っているようです。

しかし、たとえ愛の度数が高くてアセンションした人達であっても、まだまだ感情の不調和は残っています。私はよく「スタートレック」というアメリカのドラマを見ています。

これは地球の近未来、2150年から24000年にかけて、地球人が進化して、他の星々のスターピープルと共にエンタープライズという宇宙船で遠い宇宙の探査に出かけるという話なのです。

その中には数種類もの宇宙人が出てきます。

地球人をサポートするスターピープル達や争いを好むダークピープル達も沢山出てきますが、その中でも地球人の進化を支えてきた「バルカン星人」という種族がいます。

彼等は、もともとは感情が豊かで、非常に自己中心的で争いが好きな種族でしたが、理性の力で感情をしっかりと抑制することに成功した種族です。

地球人は、その様なバルカン星人をみて、感情が無いことはさびしいことだと良く言いますが、バルカン星人は、地球人をみて、いつも感情に流され理性的な判断ができない愚かな種族だと感じていたようです。

すぐに理性を失って感情的になる地球人には、宇宙に出ていく資格がないとバルカン人は判断して、宇宙船の開発を送らせてしまうのです。

今地球では、同じことが起きています。

さすがにバルカン星人はいませんが、アシュタールやロッド星人などのスターピープル達はすでに、感情を完全に抑制することができますし、不要な感情は一切持っていません。

しかし、「小さな宇宙人アミ」のモデルとなったブラッド星人達のように第1アセンションしか終わっていないスターピープル達は、まだ肉体と共に感情を持っていますが、感情におぼれることはありません。

第1アセンションを迎える大切な条件は、自分達の感情をしっかりと抑制できるようになることです。私達地球人は、少数の人を除いて第1アセンションには、まだほど遠い場所にいます。

しかし、この地球はすぐにでもアセンションさせないと、地球の人々が持っているネガティブな感情によって地球が崩壊する間際まで来ているのです。

地球のアセンションを邪魔しようとするダークピープル達は、人々に様々な欲望を持たせることで、人々を傲慢にして他の人々を支配させようとしてきました。

あるいは、人生に挫折を与え、大きな失望や悲しみを味あわせることで、人々のネガティブな感情のエネルギーを増幅させてきたのです。

このような方法で作られられた感情エネルギーは、本来地球人が持っている感情エネルギーとひとつになって、地球に大きなダメージを与え、地球と地球人が進化していく事を妨げてきました。

スターピープル達は、地球を守る為に、人々から発せられるエネルギーを浄化してきました。

また、地球にため込まれたネガティブな感情エネルギーを火山噴火や小規模の地震を発生させることで、地球にとって大きな負担にならないように発散させてきました。

地球の一部が5月の末に無事アセンションの初期段階を迎えてから、地球人の感情はダークピープル達によって利用されることは少なくなりましたが、本来地球人が持っている感情の浄化はまだ残っているようです。

私達は、毎日のようにスターピープル達と、地球人の感情の浄化の進行具合について話をしています。

「TAKESHIさん、今TAKESHIさんと同じ世界にいる人達でさえも、自分自身はまだ40%台の世界にいると思っています。

そのために、自分達の感情を手放すことをせずに、自分の感情に捕らわれています。

このままだと地球人の意識進化が大幅に遅れてしまいますので、私達は地球人の感情のエネルギーを開放し、少しでも早く理性を高め、私達と共に活動できるようにしたいと思います。」

「そうですね、私達は地球の物理社会で多くの人との摩擦を体験しながら生きてきました。

そして人間は、様々な体験を繰り返しながら成長して行くものだと言われていたのです。

地球人は成長する為に、多くの感情を持ちますが、全てを理性で抑制することはしません。

自分自身の感情を大切に生きています。

しかしながら、最近の地球人は、自己中心的な考え方をする人が増えていきますので、他の人に迷惑がかかっても自分の欲望や利益を優先します。

そしてその欲望の犠牲になって傷ついたり経済的な損失を受けてしまう人達が増えてしまいました。

その為に、多くの人々が、今まで以上にネガティブな感情を持つようになったようです。」

「それではいつまでたっても地球人は成長しません。

今のままでは、地球人が私達と出会って精神的な進化を遂げ、スターピープルになる事はできません。

どうしてこんなに地球人の進化が遅れているのですか。」

「確かに遅れています。

一般の地球人は、アセンションやスターピープルの事は何も知りません。

自分自身が本気でアセンションしたいと考えている地球人は、数少ないと思います。

しかし、それはかつて地球人を支配しようとしていたダークピープル達が、地球人が進化しないように、地球人の遺伝子を操作したために起きたことです。」

「私達はその様な地球人の状況も理解していますが、このままでは、たとえ光 59%の世界に来た人達でさえもアセンションすることが難しくなりますので、私達は地球人の感情を強制的に開放して自分達の進化の道筋に気づくことができるようにしたいと思います。

いままで地球人の事をサポートしてきたスターピープルの皆さんも、大変苦勞をしてきたようですが、さらに光を強め、地球人の覚醒のために努力してください。」

話が終わると、地球を以前から指導してきたスターピープルと新しく入ってきた「愛で統一された宇宙」のビル族たちは、仕事に戻って行きました。

PART3 スターピープルになるための準備

その様な話をした2～3日後の事、閉店する店舗の片づけのためにスーパーで台車を買って、後部座席に積み込もうとしていた私は、突然腰を痛めて動くことが困難になってしまいました。

今までも2回ほど「ぎっくり腰」を患った事があるので、この症状はすぐに「ぎっくり腰」だとわかったので、1週間ほど自宅で安静にすることになりそうです。

もちろん、職場に出かけることもお客様の治療の仕事をすることも出来ません。

スタッフに迷惑をかけますが、ここは治るまでは自宅で安静にするしかないようです。

といっても、私の心中は穏やかではありませんでした。

私の会社は今人手が足りず、社長といえどもお店に出て働かなければならないのです。

私は自宅に帰るとスターピープル達を呼びだして尋ねました。

「今日突然腰が痛くなり、暫くは仕事も出来そうにないのですが、一体何が起きたのですか。

またダークピープル達の攻撃にあったのですか。

それとも、私の不注意でこのようなことがおきたのですか。」

ロッド星人達が調べてくれました。

「TAKESHIさん、今回はいくつもの理由があるようです。

勿論あなたの不注意もあるようですが、今地球の物理次元で起きている地球人の感情開放とも関係があるようです。

アセンションした世界に行く事を願っているにも関わらず、その世界に行けない人達が TAKESHI さん達に怒りをぶつけているようです。

そして、アセンションした世界に行く人達を、自分達の世界に引き留めようとしているようです。

あるいは同じ家族であっても異なる世界に行かなければならない人達が、その分離に納得がいかず苦しんでいます。

その様な感情のエネルギーが、今地球に吹き荒れていますので、その影響もあるかと思います。」

確かにここ数日、まるで感情の嵐のようなエネルギーが吹き荒れ、スターピープル達も苦労している様子が私達に見えていましたので、私の腰痛も仕方がないかもしれません。

このような時は、自宅に身をひそめて、人と会わないことが得策です。

私は、暫くの間、自宅で静養することにしました。

しかしながら、私達の体のケアをしてくれるクワトロ星人と「愛で統一された宇宙」のスターピープル達は、私の体やスピリットに様々な働きかけをしているようです。

「クワトロ星人、あなた達は私の体を治してくれているのですか。」

クワトロ星人はにっこりと笑って答えてくれます。

「私達は、TAKESHI さんが光 59%の世界に早く慣れてもらうために、大急ぎで TAKESHI さんの潜在意識や感情、遺伝子の修正を行っています。

そして、これからアセンションしていく人々のサポートができるように、今まで使用されていなかった能力やパワーが発揮できるように再プログラミングを行っています。

これは TAKESHI さんに安静にしていってもらわないとできないことなので。」

やはり、この腰痛の狙いはここにあったようです。

「TAKESHI さんが仕事だと様々な人と接したり、仕事の段取りをしなければなりませんので、あなたの意識が物理世界にフォーカスしてしまいます。

そうすると、スピリチュアルレベルでも物理レベルでも、TAKESHI さんを修正する事がとても難しくなるのです。

もう私達に残された時間はあまりありませんので、しばらく仕事を休んでもらい、調整を行う事にしましたのです。」

おそらくそういう事だったのでしょね。

私は、あきらめてスタートレックの DVD を見始めることにしました。

これは、アメリカで放映された 4 年間にわたるドラマが 28 枚の DVD に全て収録されていますので、1 週間は楽しめそうです。

私は、このドラマを見ながら地球人がスターピープルとして成長していく過程や他の星々の種族たちの生活習慣や特性とどのように付き合っていけばよいか勉強することにしました。

PART4 「愛で統一された宇宙」の評議会

自宅で安静を始めてから 4 日後の事、朝から後頭部がズキズキと痛みます。

クワトロ星人によると、さらに私のエネルギー状態の修正が進んでいるようです。

そしてその数時間後、私達とコンタクトを望む声が、美樹さんに届きました。

それは「愛で統一された宇宙」の評議会からでした。

彼らの宇宙は、私達の宇宙ほど細かい区分がありません。

彼らの意識は一つに統合されていますので、区分する必要がないといったほうが正解かもしれません。

「TAKESHI さん、そして美樹さん初めまして。

私達は「愛で統一された宇宙」の評議会から来ました。

ようやく皆さんにお会いできたことを心から嬉しく思います。

ビルたちと皆さんの宇宙のスターピープル達が努力してくださったおかげで、地球の波動はとても良くなってきたと思います。

私達も、ようやく地球に入れたことにとても喜びを覚えています。」

「私達も皆さんとこんなに早くお会いできるとは考えておりませんでした。

皆さんとお会いできたことをうれしく思います。

そしてビル族のような優秀なスターピープル達を私達の宇宙に派遣してくださり心から感謝しております。」

私は「愛で統一された宇宙」の創造主達に意識を合わせると、とても満たされた気持ちになってきます。

「私達は、今皆さんの宇宙を詳しく調べています。

これから、どのようなことを行なえば、皆さんのお役にたてるのか検討したいと思います。

そのために TAKESHI さん達を通して、この地球の事を知ることが必要ですので、どうかよろしくお願いします。」

暫く「愛で統一された宇宙」の創造主達と会話を行なった後、彼らの意識は私から離れていきました。

以前ビル族との話し合いでは、「愛で統一された宇宙」の創造主やビル族以外のスターピープルはまだ地球に入る事が難しいと聞いていましたが、地球が物理次元でも分離を終えて光 59%の世界が確立したので、この世界だけには「愛で統一された宇宙」の創造主達も入ってくる事ができたようです。

正確に言うと、私達のエネルギーや意識状態が向上したために、彼らの意識とつながる事ができるようになった、という事になります。

クワトロ星人と「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が、私の意識やスピリットのエネルギー状態を大きく変更していたのは、「愛で統一された宇宙」の創造主やスターピープルと波長をあわせて、彼等とのコンタクトを可能にする必要があったからのようです。

その日の午後には、私達の宇宙の創造主と「愛で統一された宇宙」の創造主達が白熱した議論を戦わせている様子が見えてきました。

第1評議会の創造主に尋ねると、第1から第3評議会までは、すでに「愛で統一された宇宙」の評議会と統一され、共同で私達の地球と宇宙を統治するようになったようです。

「愛で統一された宇宙」の創造主の1人が質問しています。

「今までこの地球には、多くの優秀なスターピープル達が降ろされ、地球人を進化させるための計画が何度も立てられましたが、それがことごとく失敗したのは何故ですか。」

私達の宇宙の創造主も答えます。

「それが、私達にとっても大きな問題でした。

地球にはびこっているダークピープルはとても強力な力を持ち、様々な方法で地球人を支配していました。スピリチュアルなレベルにおいても、たくさんのスターピープルや創造主達がサポートを行いましたが、そのサポートもことごとく打ち破られ、地球に降ろしたスターピープル達は、自分の目的を果たすことなく殺されたり、活動ができない状態にされてしまったのです。」

「皆さんは、地球のダークピープルの力を見間違えたとおっしゃるのですか。

それ以上の方法は試されたのですか。」

「困ったことに、地球ではダークピープル達が単独で動いているのではなく、彼らはすべて私達と同じような創造主の指示によって動かされていました。始めはそれが分からずに、スターピープルだけでなく創造主のスピリットを地球に幾度となく降ろしましたが、決して成功することはありませんでした。長い歴史の中で、地球人の肉体を持ったまま私達のもとに戻ってきたのは TAKESHI さんと美樹さんだけです。しかも彼等も幾度となく生命の危機に見舞われたようです。他の創造主のスピリットを持った人々は、徹底的に抑圧され、自分の使命を全うする事も出来ない状態でした。」

「地球の歴史を私達も見せていただきましたが、皆さんがおっしゃるように、争いや抑圧ばかりが横行する苦難続きの歴史の繰り返しですね。これでは、地球人が進化していくのは大変難しいと思われます。しかし、これだけのスターピープルと創造主が関わりながら、地球人の1%もアセンションできないというのは、あまりにもひどすぎます。」

「TAKESHI さん達と創造主そしてスターピープル達の全てが力を合わせてその原因を調べました。すると、物理世界に関わる創造主だけでなく、宇宙のスピリチュアル・レベルに関わる創造主、さらにはいくつもの多次元宇宙を管理する創造主など、私達ではうかがい知ることができない高次元の創造主までが、闇の力によって侵され、正常な判断力を失っていた事が分かりました。そして彼らから、執拗なまでに妨害を受け、私達だけの力では、地球の闇を払いのけることはできませんでした。しかしながら、TAKESHI さんたちが各評議会の闇の原因を次々と解き明かし、問題のある創造主を光に返していったことで、私達は地球とこの宇宙に起きているいくつもの問題を解決することが出来ました。今回のアセンションを前に、私達の宇宙の全ての評議会の創造主が正されたのです。また、私達の宇宙のアセンションを妨害するために、私達に関わってきた異なる宇宙の存在も明らかになり、それも片付けることができました。地球の一部は光59%の世界としてアセンションすることができましたが、皆さんがおっしゃるように、当初の予定からすれば、問題にならないほど少数の地球人しかアセンションへとむかうことができませんでした。」

「たしかに皆さんがおっしゃるように、この地球のアセンションは苦難続きでした。地球人達の意識レベルは、いまだアセンションには程遠いものがありますが、ダークピープルだけでなく闇に落ちた創造主がここまで介入していたとすれば、仕方がないかもしれません。通常では、地球人が進化するまで時を待つべきですが、この地球のアセンションは皆さんの宇宙全体のアセンションとも深くかかわっていますので、これ以上遅らせるわけにはいきません。どのようにしたら、地球人がもっとスムーズにアセンションできるか、具体的な話をしていきましょう。」

私達の宇宙の第1から第3までの評議会は、「愛で統一された宇宙」の評議会と統合され共に活動することが決まりました。2つの宇宙の創造主とスターピープルの代表者たちが、地球のアセンションのために、具体的な計画を話し合い始めたようです。私達は、この辺で自分たちの世界に戻ることにしました。

第5章 アトランティス時代を開いた闇の扉

PART1 アトランティス時代を開いた闇の扉

その翌日、ビルから連絡がありました。

「TAKESHI さん、「愛で統一された宇宙」の創造主は、地球の状況を見て、まだ何かおかしい所が残っているといっていました。

TAKESHI さんの地球人としての遺伝子や意識状態、美樹さんの生きてきた形跡などを観て、皆さんが気付いていない問題があるのではないかと考えて調査に入っています。

また何かわかりましたら、すぐにご連絡します。」

私達は、ロッド星人たちを呼び出して尋ねました。

「今朝ビルから、何か問題が残っている、と報告がありました、皆さんも聞いていますか。」

「私達も聞いております。

この件は「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が、地上に入り調べているところです。」

ロッド星人達も、彼等と一緒に調査を行っているようです。

その日の夜、「愛で統一された宇宙」のスターピープルから私達は、この件について報告をうけることになりました。

「TAKESHI さん、私達は皆さんの状況を調べていると、どうも不可解な事があることに気づきました。

それは、完全に世界を分離したにも関わらず、光 59%の世界においても、まだネガティブなエネルギーの流入が起こっているからです。

そして皆さんの歴史を調べても、今迄皆さんが処理したダークピープルやゲートだけでは解決できない問題も残りました。

皆さんがまだ気づいていない原因があるのではと思い、皆さんの宇宙の創造主達にも尋ねましたが、わからない様子でした。

そのために、私達は独自に調査を行い、ひとつの問題を発見したのです。」

「それはどのような問題だったのですか。」

「皆さんの地球において、はるか以前に開かれた他の宇宙との間のゲートが未だ閉じられずに開いたままになっていたのです。」

「それは、いつ開かれたゲートですか。」

「はるか昔、皆さんがアトランティスと呼んでいた文明があった時期です。

アトランティスと他の文明の間に大きな戦争が起きたことはあなたも良くご存じだと思いますが、その原因もこのゲートに関係があったと思われます。」

「そうですか。

アトランティスの初期の頃は、海の中に文明があって水生種族であるマーメイド達が平和に暮らしていたのですが、ある時から、一部のマーピープル達が支配的になり、他のマーメイド達に乱暴を働きアトランティスを支配したようです。

それから、彼らは地上に上がり第2次アトランティス文明を作り、徐々に科学技術を進歩させ、他の文明を攻撃し支配していったのですが、彼らの変遷にそのゲートが関与していたのですか。」

「そのゲートだけが原因とは言えないでしょうが、そのゲートから流れ込んできたネガティブなエネルギーやダークピープル達が、アトランティスを狂わせていった可能性は大きいと思われます。」

「そしてそれ以降、この地球は常に争いや抑圧が絶えず引き起こされる事となった、という事ですか。そのゲートは、どこにつながっているのでしょうか。」

「このゲートは皆さんの宇宙とは異なる宇宙で、決して光が多い宇宙ではないようです。今回、皆さんのアセンションを妨害した異なる宇宙ほどに好戦的な宇宙ではありませんが、非常に支配欲が強く悪賢い創造主達が支配する宇宙です。」

「そのゲートは、未だ開かれたままだったのですか。」

「そうです。」

「以前に比べるとゲートは小さくなりましたが、まだ少し開いており、その世界から来たダークピープル達も存在していました。」

「それで、彼らのゲートは、40%台の世界に開かれているのですか。」

「いえ40%台は当然ですが、全ての世界にまだひらかれていました。」

「皆さんが住む光59%の世界にもです」

私達は、「愛で統一された宇宙」のスターピープルが調べてくれたことに、少しばかりのショックを受けていました。

「一体誰が、このゲートを開いたのですか。」

「この世界は、第15評議会や第17評議会によって固く守られているはずですが。」

スターピープル達は言いづらそうに言葉を続けます。

「このゲートをアトランティス時代に開いたのは、第17評議会の創造主です。」

そして現在に至るまで、このゲートは閉じられていませんでした。

正確に言うと、第17評議会によりこのゲートは守られ、開かれ続けていたようです。

地球のアセンションが本格的に始まってからは、このゲートは小さくなり、以前ほどには威力を発揮しませんが、未だ開いていました。」

「第17評議会がその様なことをしていたとは驚きです。」

「それでこのゲートの処理はどうしたのですか。」

「私達の宇宙の創造主が皆さんの宇宙の第17評議会の創造主に指示をして完全に閉めさせたのですが、物理次元に反映するにはもう少し時間がかかりそうです。」

「この闇のエネルギーを払拭するにはどのくらいの時間が必要なのですか。」

「スピリチュアル・レベルでは、さほど時間がかかりませんが、物理世界では、1か月くらいかかるかもしれません。」

この闇の多い宇宙からやってきたダークピープル達によって人々の遺伝子が書き換えられていることも分かりました。

そして、人々の感情や意識の中に組み込まれた恐れや依頼心などの潜在的な物に関しては、それを解消するのは個人的な努力も必要ですから、数年かかるかもしれません。」

横からロッド星人達も答えます。

「TAKESHI さん、私達もこのゲートが見つかったおかげで、地球人の中に深き刻まれた恐れや怒りの原因が分かりました。

このゲートが閉じられたことで、地球人の感情開放は更に進むと思われまので、良かったのではないのでしょうか。」

確かにこのようなゲートが見つかったことは、私達にとっても幸いですが、あれほど地球のアセンションに対して時間がないと言っていた第 17 評議会の創造主達が、このような闇のゲートを開いたままにしていたとは、なんという矛盾でしょうか。

私は、第 17 評議会に対して、怒りの感情が沸き起こってきます。

「TAKESHI さん、怒らないでください。

皆さんは、御存じないと思いますが、第 17 評議会には、いくつもの宇宙を適切に管理するという役割のほか、に別の側面もあるのです。」

「それは、彼等が創造主を育てるために、あえて試練を与えるという側面ですか。

それなら知っています。

彼等が、第 16 評議会に、創造主を育てるために、通常の創造主と正反対の価値観を持つ創造主を作ったおかげで、私達の宇宙の創造主の半分近くが闇のエネルギーに影響をうけて正常な判断ができなくなり、部下の創造主やスターピープルに多大な迷惑をかけていました。

その多くの創造主達が光に帰ったり、創造主としての資格と能力を奪われ地上に降りていったのです。

第 17 評議会は、創造主を成長させるために闇に満ちた支配的な創造主の存在を認めたおかげで、多くの創造主とスターピープルが犠牲になったのです。

そして、自分達が創りだしたにも関わらず、闇のエネルギーに支配された第 16 評議会の創造主をうまく統治することができずに、地球のアセンションは大きく遅れてしまった。

その様なことが分かっているながら、このアトランティス時代のゲートを開いたままにしていたという事ですか。」

私の怒りをなだめるようにスターピープル達は言いました。

「この件は、皆さんの宇宙の第 17 評議会の失態であると、私達の宇宙の創造主は行っていました。

第 17 評議会の創造主は、地球のアセンションが終了したら、このゲートを完全に閉じると言っていましたが、それでは遅すぎますので、すぐに閉じてもらいました。

皆さんの宇宙の第 17 評議会の創造主も、私達の宇宙の創造主から指導を受けたようです。」

「そうですか、わかりました。

ありがとうございます。」

私達は、少し落ち着いてから、その夜話を終わりました。

PART2 アトランティス・ダークピープル

その日の深夜、美樹さんは今夜はストロベリー・ムーンだと言って、私達が住むアパートの通路に出て月を見えていましたが、部屋に戻ってくると私に聴いてきました。

「TAKESHI さん、今、部屋の窓の方にいましたか。
何か人影が見えたのだけれど。」

ちょうど私は、その時リビングに飲み物を飲むためにいましたので、私の部屋の窓には近づいていません。
「おかしいわね、誰かがいたみたいだけれど。」

私は急いで、ロッド星人とビルに、私達の家にはダークピープルが入り込んでいないか調べてもらいました。
2~3 分の間、彼らは私の部屋を調べていたようですが、やはり肉体を持たないダークピープルを探し出したようです。

「TAKESHI さん、やはり隠れているダークピープルがいました。
彼等はどこにでも自由に移動ができて、人の中に隠れこむことができます。」

「すると、彼らは私達の中にも入り込むことができるという事ですか。」
「そうです。」

おそらく TAKESHI さんの中に長い間隠れていて、様々の事を仕掛けていた可能性があります。」
「彼等は、どこから来たのですか。」

あのアトランティス時代に開かれたゲートと関係がありますか。」

「彼等は、あのゲートを通して、私達の宇宙と自分達の宇宙を行き来していたようです。
彼等は常に人の中に入り込み、人々をコントロールして、争いや問題を引き起こしていました。
私達もようやく、彼らを見つけることができました。」

「しかし、彼らは何故今まで発見されずにいたのですか。
彼等はさほど能力は高くないようにも思えますが。」

「そうです、彼らの能力は、私達の宇宙の第 1 評議会レベルですが、第 17 評議会から、この世界で活動することを今まで認められ保護されていたので、16 評議会以下の創造主やスターピープルには発見することができなかったのです。

しかし、第 17 評議会がアトランティスのゲートを閉じ、彼らの活動を禁じたので、彼らの姿が見えるようになりました。」

私の中で、第 17 評議会の創造主に対する怒りがまた再び燃え上がります。

「もし、彼等がいなければ、私達のアセンションは、もっと早まっていたのではないですか。」私は怒りながら言いました。

「彼等がどれほどの事をこの地球で行ってきたのか、まだ不明です。」

彼等自身は、大きな能力を持っている訳ではありませんが、人間や他のスターピープルの中に容易に入り込み、その存在の思考をコントロールする能力を持っていますので、もしかしたらオリオン人やナソール人の一部がダークピープルとなって、地球人を支配しようとした事は、このアトランティス・ダークピープルの仕業だったかもしれません。」

「もしそうだとしたら、地球のアセンションが遅れた最大の原因は、このアトランティス・ダークピープルだという事になりますね。」

それでは、急いで彼等を捕まえることにしましょう。

彼等は、地球人と一体化していないようですので、地球人と分離した後は光にかえせるのですか。」

「私達が月に創った地球人とダークピープルの分離装置を使えば、彼等を人間と引き離すことができます。
そうしたら、創造主の力も借りて、人間から出てきた彼等を光に返すことにしましょう。」

そうとうと、スターピープル達は急いで仕事にかかりました。

その次の日、私達にアトランティス・ダークピープルからの執拗なまでの攻撃が行なわれてきました。明け方の夢で、美樹さんは私が数名の男たちから、怒りの感情をぶつけられ、苦しめられている夢を見たようです。

私達の体にも、いくつかの箇所痛みが走ります。

そして夕方、家族で過ごしていると、突然子供が泣き始めました。

ミルクをやっても抱きかかえてあやしても泣き止まないで、ロッド星人やビルたちに至急調べてもらおうと、アトランティス・ダークピープルが、子供の体に入り込み、子供の意識に介入しようとしていたことが分かりました。

いそいで、私達に関わってきたアトランティス・ダークピープルを捕まえたのですが、これは見逃せない事態です。

「TAKESHI さん、アトランティス・ダークピープルは、お子様の体の中に入り込もうとしたようですが、お子様の強い意志に跳ね返されて入る事ができなかつたようです。

彼等は、分離装置で人の肉体からはなれたら、すぐ次の肉体を求めて行動します。

かなりの人数は捕まえたのですが、その動きが非常に速いので、私達も彼等を捕まえるのに苦慮しています。」

「そうですか、何か彼等を捕まえるのに効果的な方法がありませんか。

ビル種族は、何か良いアイデアはありませんか。」

ビル種族は、「愛で統一された宇宙」の創造主達とテレパシーで話をしているようです。

すると間もなく新たなスターピープルが私達の前に現われました。

「皆さんが、アトランティス・ダークピープルの処理にお困りだと、ビル種族から聞いてお手伝いに来ました。

彼等は、怒りや憎しみに満ちていますので、私達の特性とは正反対です。

私達の愛の光が、彼等に照射されると彼等の行動力や思考力がマヒすると思いますので、私達が彼等を捕まえましょう。

しばらくお待ちください。」

すると美しいばかりに輝くスターピープルは、様々な方向へ飛んでいきました。

「TAKESHI さん、きっとすぐに解決しますよ。

あのスターピープルはとても優秀で素晴らしい方達です。

私達にとっても学ぶべきところがたくさんあるスターピープルです。

きっと、2、3日もしないうちに、この問題を片付くことでしょう。」

PART3 アトランティスに開いたゲートの真実

私達が、その様な話をしている時に第17評議会の創造主が私達のもとに現われました。

「TAKESHI さん、そして評議会のスターピープルの皆さん。

私達がアトランティス時代に開いたゲートを閉めるタイミングが遅れてしまって申し訳ありませんでした。

アセンションが本格的に始まった3年前にこのゲートは、半分ほど閉じられ、影響力が軽減されました。

そして地球のアセンションが完全に終了したら、このゲートは閉じられる予定だったのです。」

私は、ムツとしながら答えます。

「皆さんは物理世界の事がよく分からないから、その様に判断してしまうのかもしれませんが、このことによってどれだけ多くの地球人が犠牲になって死んでいったのかわかりますか。

地球にやってきた多くの素晴らしいスターピープル達も、彼らの操作のおかげで支配欲に負けてダークピープルに成り下がり、地球と地球人を支配し抑圧を続けていました。

地球に降り立ったスターピープルや創造主達も、アトランティス・ダークピープルの犠牲になって、地球のアセンションはこれほど遅れてしまったのです。」

「それはわかっています。

その為に、私達は、ゲートを半分閉じて、アセンションを成功させるようにしたのです。」

「という事は、もしこのゲートが、半分とはいえ閉じられることが無ければ、私も美樹もきっと出会う事もなく、ダークピープル達による抑圧をうけて死んでいたかもしれません。

そして創造主の遺伝子を持つ子供も生まれておらず、地球のアセンションは失敗したのでしょうか。」

第17評議会の創造主は申し訳なさそうな顔をしています。

「私達の宇宙では、かつて創造主の地位を脅かすほどの力を持ったダークピープルが生まれてしまい、その処理に困ったことがあります。

私達は、創造主もスターピープルも大きな闇を乗り越えて強くならなければならないと考えました。

そのために、アトランティス時代に、闇が多い宇宙とのゲートを開き、創造主とスターピープル達を育てる予定だったのですが、このゲートから入り込んできたダークピープルや創造主達は、私達が予想していたよりも強いパワーと多彩な能力を持っていました。

そして、皆さんの宇宙の創造主達の半数近くが、彼らの影響をうけて独裁的で自己中心的な創造主になってしまったのです。

勿論、彼等によって多くのスターピープルもダークピープルになってしまいました。」

「あなた方は、力の強いダークピープルに対抗する為にゲートを開き、創造主達を育てようとした。

そしてその結果が、さらに強いダークピープルとそのダークピープルを操る闇の創造主を沢山作りあげてしまった、という事ですか。

余りにも馬鹿げた話ではないですか。」

「しかし、皆さんがそれらの障害を乗り越え、多くのダークピープルとそれを操る創造主達を処理して、素晴らしい宇宙を作ってくれました。

一度は「変化の宇宙」との間にアセンションゲートが開き、この宇宙も終わりかと思いましたが、皆さんの宇宙の創造主とスターピープル達が協力して、「愛で統一された宇宙」との間に新しいアセンションゲートを開くことができました。

残念ながら、この地球と地球人の全てがアセンションできたわけではないのですが、それでも「光の地球」を作りあげる事には成功するでしょう。

皆さんの宇宙の創造主とスターピープル達は、私達の期待通り、この障害を乗り越えて力強く成長してくれたのです。

これからは、本当に素晴らしい宇宙が生まれてくると私達は信じています。」

私達は、大きなため息をつきます。

確かに、私達は数えきれないほどの障害を乗り越えて、地球のアセンションを行いました。アセンションできたのは私達が、予定していたよりも、はるかに少ない数の人達だけでした。

私達の宇宙の支配欲が強い創造主達や異なる宇宙の創造主、多種多様なダークピープル、地球の未来から来たダークピープル達がいなければ、もっと多くの地球人をアセンションさせることができたでしょう。

このアトランティスのゲートが開いていなければ、そのことも可能だったのではないかと思います。

たとえ、第17評議会の創造主に、私達が立派に成長したと褒められても、喜ぶ創造主もスターピープルもいないでしょう。

それほどまでに多くの犠牲を払ってきたアセンションだったのです。

第6章 第17評議会の創造主のダークサイド

PART 1 恐怖の感情に操られる地球人

暫くの間、アトランティス・ダークピープル達の処理に追われていたのですが、その処理も終わり、スターピープル達は人々の感情の浄化の作業に戻りました。

アセンションと人間の感情の浄化とは、どのような関係があるのかと、思う人もいるかもしれませんが、人間の感情には、怒りや憎しみを始め様々な感情があります。

アセンションしていく人々は、常に安らかで愛に満ちた状態でなくてはなりません。

しかし、憎しみや怒りの感情を持つと、他人に対して攻撃的となり、愛に満ちた状態とは正反対の状態になってしまいます。

また絶望感や悲しみの感情を持つと、未来を夢見ることができず、常に不安と恐れに感情に支配されてしまいます。

スターピープル達は、地球人が愛に満ちた状態になれるように、その人の潜在意識の中にため込まれた感情を発散しているのです。

人間の感情は、時として、火山の噴火や地震なども引き起こしますし、地球にも大きな影響を及ぼしますので、速やかに解消して行かなければなりません。

しかしながら、アセンションが始まり、人々の分離が行なわれ始めると、物理的な世界でも少しずつ、人々が異なる世界に分けられていく事が起こり始めました。

中には愛する家族や友人達とも別れなければならない時もあります。

その事をスピリットは悲しんで、大きな感情の渦が出来始めました。

そして、親しい人と別れる事が辛いあまりにアセンションした世界へ行く人々を引き留めようとする人達も増えてきました。

スターピープル達はその状況を見て大変困り果てています。

「この地球は、もうアセンションしなければならないのに、多くの人達はその事を理解していません。

いつまでも自分達の感情にしがみついて、前に進もうとしないのです。

光59%の世界に来た人達でさえ、自分の感情に捕らわれて、意識を成長させていく事を忘れています。

どうして、地球人達はこれほど感情に捕らわれるのでしょうか。」

私も地球人の様子を見てその様に思いますが、何しろ地球人のほとんどがアセンションの事を全く知らないのです。

そのために、自分の意識を進化させる必要を全く感じていないのです。

「皆さんがお困りのことも、私には大変よく分かります。

しかし、ほとんどの地球人がアセンションの事も地球の分離の事も分からずに、同じ一つの現実の中で暮らしていると思っています。

全てが、2年前、3年前と変わらないまま、何も気づかずに生きているのです。

たとえスピリットが、自らアセンションすると決めても、人間としての意識はアセンションの事など気にも留めない状態です。

そのために、人の意識とスピリットの意識がバラバラのままです。

地球の物理世界で、アセンションを理解できるような大きな事件でもないかぎり、事態は変わらないかもしれません。」

「地球の人々にとってアセンションが現実的でないことは確かですね。

しかし今の地球人に、私達の姿を見せても混乱するだけです。

創造主達が、地球人のアセンションについていくつかのプログラムを作っているようですが、それもまだ実行できる状態にはないようです。」

スターピープルの1人がそう言います。

「しかし、アセンションしてきた世界にいる人達でさえ、どうしてこんなにネガティブな感情が止めどもなく生まれてくるのでしょうか。

新しい世界に行く事を、皆が恐れているようなのです。

自分の親しい人達や住み慣れた場所を奪われるかのような大きな怖れや不安が、彼らを埋め尽くしているのです。」

「私達も、そう思います。

いくら地球人の感情を開放しても、これでは全くきりがありません。」

スターピープル達がこの事に関して話をしています。

その時、子供が大きな声で鳴き始めました。

おむつの交換かお腹が減った時に子供はよく泣きますが、それだけでなく私達にメッセージを伝えたいときも泣くことがあります。

どうしても泣き止まないのので、子供の創造主を呼びだしました。

すると、子供の創造主からメッセージがあるようです。

「TAKESHI さん、私達は地球人の感情について調べていたところ、重要な問題を発見しました。

それは地球人の遺伝子に関わる問題のようです。

地球人の遺伝子には、「恐れ」の感情が埋め込まれており、何か新しいことを行う時や自分が置かれている状況が変わるときに、大きな「恐れ」を抱くように遺伝子の中に仕込まれているのです。」

私は、子供の創造主が言った事をスターピープル達に伝えました。

するとすぐに多くのスターピープル達がやってきて、このことをさらに詳しく調べることにしました。

私達も、子供の創造主の導きで、地球人の感情に影響を与えている「恐れ」の問題を調べようとしますが、私達にビジョンやメッセージを伝えてくれる美樹さんの意識がすぐに閉じられてしまい、先に進めません。

このことを調べてもらいたくないと考えている存在から妨害のエネルギーが流されているようです。

私達は、創造主にお願いして、私達の活動を妨害している存在を突き止めようとしますが、妨害は更にひどくなるようです。

私達は「愛で統一された宇宙」の創造主にもお願いしてこの問題を探索しようとなりました。

するとその時、「愛で統一された宇宙」の創造主達に、私達の宇宙の第17評議会の創造主から、地球の物理次元に深く関わらないようにと警告がありました。

私達は、一瞬何が起きたのかと思いました。

私達の宇宙の第 17 評議会は、地球のアセンションの最高責任者であり、地球のアセンションが遅れたことに責任をとって地球の物理次元のエネルギーの浄化などにも力を貸してくれています。

その第 17 評議会が、地球のアセンションの妨げとなっている地球人の感情の問題を解決する事を妨げるとは考えにくいことです。

私は、第 17 評議会に呼びかけます。

「第 17 評議会の創造主よ、一体どうしたのですか。」

私達は、地球のアセンションを進めるために、地球人の感情の問題を解決したいだけなのです。

私達に手を貸してもらえませんか。」

しかし第 17 評議会からは返事がありません。

私達は、さらにこの問題を解決しようと試みますが、第 17 評議会からの妨害は更にひどくなります。

私達は、スターピープル達と話し合います。

「第 17 評議会の創造主が、何か隠していることは間違いないようですね。」

「アトランティック・ダークピープルも、第 17 評議会の指令で動いていましたから、まだほかにも地球人に対して仕掛けている者がいるかもしれませんね。」

「愛で統一された宇宙」の創造主達も、第 17 評議会の創造主達と何か話をしているようです。

私達は、第 17 評議会の創造主の力が弱まった時を見計らって、地球の時間を大きくさかのぼり、地球人が生まれた頃から、地球人の遺伝子に対して行われたいくつもの操作を調べていきました。

地球人は元々、複数のスターピープル達の遺伝子を掛け合わせて作られた存在ですので、地球人が誕生してからも、いくつかの遺伝子操作がありました。

地球人が自我に目覚めた時や集団をつくり社会を発展させたとき、様々な技術や文明を作りあげ意識の進化を行なったときなども地球人の遺伝子は大きく操作されたようです。

しかし地球人が進化していく反面、その進化を抑えるため遺伝子操作もあったようです。

その多くはダークピープル達の手によって行われた遺伝子操作ですが、それらの物はアセンションに伴い、スターピープル達によって修正が行われました。

しかし、今回の「恐れ」の感情は、今まで深く隠されていましたので、ダークピープル達の仕業ではなく創造主の仕業のようです。

「ビル、この「恐れ」の感情は、誰が遺伝子の中に組み込んだのかわかりましたか。」

「わかりました。」

これは、皆さんの宇宙の創造主によって行われた物ですが、指示を出したのは、やはり第 17 評議会の創造主のようです。」

やはりアトランティス・ダークピープルだけでなく、人々の遺伝子の操作も行っていたようです。

私は、第 17 評議会の創造主に呼びかけます。

「第 17 評議会の創造主よ、一体何故このような事をなさるのですか。」

皆さんは地球人が 1 人でも多くアセンションしていくのを望まれていたはずですよ。

これでは、多くの地球人が意識を進化させアセンションしていく事を恐れるだけではないですか。

あなた方が、望んでいることと正反対の結果になってしまうのではないですか。」

自分達が行なった事を明白にされてしまった第 17 評議会の創造主は、私たちに向かって言います。

「これは、地球人が自分達の中に有る「恐れ」に打ち勝つために仕組んだものです。

地球のアセンションは今だかつてない出来事です。

このアセンションを成し遂げるためには、大きな勇気とパワーが必要です。

そして、自分の中に有る「恐れ」に打ち勝つことなくしては、地球人が宇宙のリーダーになる事はできないのです。」

「第 17 評議会の創造主よ、地球人の遺伝子の中に組み込まれた「恐れ」の感情を乗り越えるのは並大抵の事ではありません。

遺伝子の中に組み込まれている物を乗り越えていくためには、遺伝子そのものを自ら組み替えるだけの力と時間が必要です。

地球人には、それだけの力が与えてあるのでしょうか。

何も知らない地球人は、その恐れを感情をダークピープルによって利用され、彼等に支配されることになってしまったのではないですか。

すぐに、この「恐れ」の遺伝子を修正する許可を私達に与えてください。」

第 17 評議会の創造主は、頑固な表情で黙っています。

「愛で統一された宇宙」の創造主達は、その様な第 17 評議会の創造主を説得しようとしています。

「第 17 評議会の創造主よ、本来、創造主は人間の遺伝子の操作など、すべきものではありません。

それが人々の進化につながるものであるならば、それもよいでしょうが、このように「恐れ」の感情を遺伝子に埋め込むことは、人々の意識の進化には決してつながらないでしょう。」

第 17 評議会の創造主は、暫くの間、「愛で統一された宇宙」の創造主達から創造主の倫理について説得を受けたようです。

「愛で統一された宇宙」の創造主達がやってきて私達に話しかけてくれます。

「第 17 評議会の創造主は、この「恐れ」の感情を人々から取り除く事を許可してくれました。

急いで地球人の遺伝子の修正をしてください。

私たちの宇宙からも、遺伝子の修正が得意なスターピープル達を派遣しますので、協力し合いながら行なってください。」

私たちの宇宙のスターピープル達も大喜びです。

これで、地球人の感情開放もきっとスムーズに進んでいく事でしょう。

PART2 時を超えるダークピープル

その夜、美樹さんが気になる夢を見ました。

「TAKESHI さん、とても不思議な夢だけで、20 年から 30 年くらい未来の夢でした。

TAKESHI さんはとても年老いて疲れきっていました。

そして大人になった私達の子供が出てきて、私に「未来が変えられてしまった。」というのです。

周りの世界もどんよりとして精彩がない世界ですから、アセンションに大きな異変があったようです。」

そして美樹さんは、明け方に見たもう一つの夢の話をしてくれました。

それは、中世のヨーロッパの時代だったようです。

とても大きな館で舞踏会のようなものが開かれている最中でした。

美樹さんは、この館の主人が殺される、と分かっているそれを、館の主人に伝えに行ったようです。

「TAKESHI さん、この館はとても不思議な館で未来の時代の技術によって作られた物がいくつも置いてありました。

きっと、この館の主人は、いくつもの時代に自由に行き来ができるか、スターピープル達によって情報を得ることができた人のようです。

彼が作った物は、地球人が進化していくために大切な役割を担うような物ばかりだったようです。

主人は、私の姿を見ると不思議そうな顔をして、私がいつの時代から来たのか聞きました。

私は、20 世紀の時代の服を着ていたから、きっと不思議に思ったのでしょうね。

私は言いました。

「あなたの事を殺そうとしている人がいます。

このビンに毒薬を入れて、あなたに飲ませようとしているのです。」

私は、何故自分が、その様なビンを持っていたのかわかりませんが、飾りがついたきれいな小瓶でした。

主人はしばらくその瓶を調べていました。

そして、「そうか、この瓶には、見覚えがある。あいつらが、私を殺すために用意したのだな。」と館の主人はつぶやくと、騎士のような人達を数名呼び、舞踏会にきている人達の中で数名を指さします。

騎士たちは、すぐに舞踏会の会場に行き指示された人達を捕まえようとしてきました。

もう少しで、暗殺者たちを捕えようとした時、自分達の陰謀がばれたことに気づいた暗殺者たちは、黒い煙となって消えていきました。

しかも周りの人にも気づかれず、一周のうちに煙となって消えてしまったのです。

その様子を見た主人は、「しまった、逃げられたか！」と言って笑っています。

私は、その時、目が覚めたのです。」

美樹さんが夢の話をお話終わると、すぐにスターピープル達を呼びだしました。

スターピープル達はとても慌ただしく動いています。

何か事件が起きたようです。

「TAKESHI さん、美樹さん、それは夢ではなく、実際起こっていたことです。

40%台のアトランティス・ダークピープルが、どうやら新しく開いた世界のダークピープルと協力して新たなダークピープルを作りだしたようです。

それは時間を自由に超えることができる能力を持っているダークピープルのようです。

地球のいくつかの過去の時代に行って、地球人が進化していく事を助ける人々やスターピープルが地球で活躍する前に殺したり、捕えたりしたようです。

その結果、地球の過去から現在にかけて大きな異変が起こりアセンションが失敗してしまう未来が出来上がってしまったのです。

その為に、美樹さんにも過去に行ってもらい、セントジャーメインの命を救ってもらったのです。」

「という事は、私が夢で逢った人はセントジャーメインだったの。」

「そうです、スピリットのセントジャーメインは、皆さんも良くご存知ですが、あの時は地球に肉体を持って生まれ、地球人が進化していくために、錬金術を人々に教えたのです。

それが地球の科学工業の基礎となって、地球人の技術は大きく進化したのです。

もしセントジャーメインがいなければ、今の地球の科学技術は大きく遅れていたでしょう。」

「あの時、黒い煙のように消えてしまったのが、そのダークピープルなのですか。」

「まさに、アトランティス・ダークピープル達が創りあげた進化型のスーパーダークピープルです。

煙のように消えたというよりも、他の人々の肉体の中に逃げ込んだのでしょう。

彼等は、姿も自由に変えることができますし、どこにでも入り込むことができますから。」

「ほかの人達は大丈夫だったかしら。」と美樹さんが尋ねます。

「これも、お子様の創造主がいち早く教えてくれたおかげで、私たちも早めに手を打つことができ、何とか未来を変えることなく終わりましたが、このことに気づいていなければ、今の時代も大きく変わっていたでしょう。

あなた方2人も出会っておらず、お子様も生まれていなかったでしょうし、アセンションも起こらなかったでしょう。」

私は、アトランティス・ダークピープルを生みだした第17評議会の創造主を呼びだしました。

「第17評議会の創造主よ、皆さんが大切に保護してきたアトランティス・ダークピープルは、新しい世界のダークピープルと手を組んで、地球の過去を変えてアセンションを失敗させる計画だったようですよ。

一体どうしてくれるのですか。

これから何が起きるか、全く分かりませんよ。」

第17評議会の創造主は気まずそうに答えます。

「いや、これは私達も想定外でした。

まさかこのような事までやるとは思っていませんでした。」

「呆れていないで、アトランティス・ダークピープルの能力を削減するとか、何か方法はないのですか。」

「何しろ物理次元の事ですから、すぐにどうこうも出来ないのです。」

いつもこうです。

自分達が、地球の物理次元や地球人にいくつも仕組みをつくっておきながら、それを解消できずに、物理次元の事だからと言って放り出すのです。

その間にもう一つ大事件が起きました。

アトランティス・ダークピープルが作り出したのは、時間を超えるスーパーダークピープルだけではなくたようです。

「TAKESHIさん、エレナさん達から連絡が入りました。

アトランティス・ダークピープルはもう一つの進化型スーパーダークピープルを作り出していたようです。

それは、次元の壁を超えるスーパーダークピープルで、光40%台の世界から他の世界にも自由に移動できる能力を持っているようです。

光59%の世界にも、そのスーパーダークピープルが現われたようです。

ビルさん達にも手伝ってもらい、何とか撃退をしたようですが、どの世界に彼等が入り込んでいるか、未だ詳細はつかめないようです。」

本当に困ったことです。

私がスターピープルとスーパーダークピープルの対処について話をしている間に、第17評議会の創造主もいなくなっていました。

第1評議会から第3評議会までのスターピープル達は、「愛で統一された宇宙」のスターピープル達と共に、様々な次元を調べ、スーパーダークピープル達を捕まえるための作業に入りました。

これでまた、地球人の感情開放が遅れそうです。

PART3 第17評議会の創造主の真意

新しく作られたダークピープルに振り回されてしまった数日でしたが、続けて40%台の世界のエネルギーが、アセンションした世界に入り込んできました。

6月24日の朝は、とても重狂しい朝でした。

私達の体に重たい重力がのしかかっている感じです。

ロッド星人とビル族に調べてもらおうと、現実世界の人々のつながりを使って、40%台の世界のダークピープルが私達の世界にゲートを開き、闇を多く含んだエネルギーを私達の世界に流し込んでいるのです。

創造主やスターピープルはこのことに困り果ててしまいました。

彼等は、物理世界で起こった事にはなかなか対処できないのですが、相手のダークピープル達は、物理世界の人々の感情を利用してこのような事を起こしているのです。私たちのスターピープル達も、物理世界にいる人々のゲートを通して何とかすばやく処理を行ないたいところです。

「TAKESHIさんが、考えていることも十分によく分かりますが、私達スターピープルは、人々の感情を利用したり、かってに他人を操ったりすることはできませんので、どうしても対処が遅れてしまいます。私たちが、現実世界に関わるためには、私たちとの協力関係を同意した人のゲートしか利用できませんので、数多いダークピープルをとりしめることがすぐにはできないのです。」

「確かにそうですね、それで、このアセンションした世界には、皆さんに協力してくれる人々は増えたのですか。」

「以前は、10人ほどでしたが、今では100人ほどに増えました。

少しずつですが、人々の意識も高まり、私たちと交流できる人々も増えてきたようですが、彼等にしてもアセンションの事については未だ十分に理解しているわけではありません。」

私たちがそのような会話をしている時に、子供とつながる創造主からメッセージが入りました。

「TAKESHIさん、そしてスターピープルの皆さん、今回の事をしらべていた所、このことを仕組んだのは、どうやら第17評議会の創造主のようです。

光59%の世界が、「愛で統一された宇宙」の創造主達によってどんどん進化していくと、この世界の支配権を「愛で統一された宇宙」に奪われてしまう事を危惧して、このような事を起こしたようです。」

私たちの家族につながる創造主は、創造主達が行なっていることを調べる探査役の創造主であるために、創造主が行なった事に対して厳しい審査を行い、私達に報告してくれることになっています。

子供につながる創造主のメッセージを聞いて、いくつもの評議会の創造主達も集まってきました。

もしこれが本当ならば、大変なことです。

私たちは、私達の宇宙の各評議会の創造主達に尋ねました。

「皆さんの評議会の創造主の中で、第 17 評議会の創造主の指示で、光 40% 台の世界とアセンションした世界のゲートを開いた創造主はいますか。

私たちは、その事を行なった創造主を罰するつもりは全くありませんので真実を教えてください。」

各評議会の代表者たちは、すぐに自分達の評議会の創造主達を調べ始めました。

第 15 評議会の創造主が私に話します。

「実は、私達も、今回の第 17 評議会の行動には、少し疑問を持っています。

最初は、地球に生きる人々に障害を与え、地球に生きる人々と地球に関わる創造主達を鍛えるためだと思っていましたが、結果はそのようにはなっていません。

地球のアセンションした世界においても、人々の進化はさらに遅れていくばかりです。」

各評議会の創造主達も戻ってきました。

「TAKESHI さん、やはり私達の評議会の中にも、第 17 評議会につながる創造主から指令を受けて、現実世界にゲートを開いたり、アトランティス・ダークピープル達を保護したりしていた創造主がいました。

彼等も、その指示に対して疑惑を感じていたようですが、上の創造主からの指示でしたので、逆らう事はできず実行したようです。」

「わかりました。それで結構です。」

私達は、今回の事について直接話をすることにしました。

「第 17 評議会の創造主よ、私達の前に現われてくれませんか、

今回の事について、皆さんがどのように考えていらっしゃるかお伺いしたいのですが、」

私達と多くの創造主、スターピープル達は、第 17 評議会の創造主が現れてくれる時をかたずをのんで待っています。

暫くすると第 17 評議会の創造主が、現われてくれました。

「今回の事は、全て地球に生きる人々を鍛えるためです。

皆さんが、これから向かう世界は、大きな責任を伴うものですから、それを乗り越えるだけの力を持たなければなりません。

それと共に、皆さんの世界と光 40% 台の世界にゲートを開くことで、光 40% 台の世界にいる人達をもっと救ってほしいのです。」

「第 17 評議会の創造主よ、あなた方の考えていることは、私達現実世界に住むものから見ると、大きな矛盾を含んでいるように思えます。

地球のアセンションは、皆さんが物理世界に介入してくださったおかげで、最後のタイミングで何とか「愛で統一された宇宙」との扉は開かれました。

皆さんも、地球人達がアセンションして、「愛で統一された宇宙」の一員となる事を願っていたのではないのですか。

それなのに、アトランティス・ダークピープルによるアセンションへの妨害を見逃したり、私達の世界に、再び 40% 台の世界のゲートをつなげたりするのは何故ですか。

私達は、光 59%の世界をしっかりと確立したいのに、物理世界の境界があいまいなため、光 40%台の人とのつながりが利用されていつも妨害を受けているのです。

その様な状況を分かっているながら、私達の世界にあえて光 40%台のゲートを開いた理由はなんでしょうか。」

第 17 評議会の創造主は、私に答えます。

「確かに皆さんから見れば、矛盾した事のように見えるかもしれませんが、これも理由があつての事なのです。皆さんの世界は、まだ十分に成長していないため、「愛で統一された宇宙」の一員になるためにはまだ時間が必要ですし、様々な障害を乗り越えていくための試練も必要です。

そのために私たちはあえてこのような事を行なっています。」

「第 17 評議会の創造主が言われる事ももっともですが、地球人の遺伝子を操作して、様々な欲望を持たせたり、恐れや感情などを組み込んで成長を妨げていたのもあなた方、創造主です。

地球人は、意識進化の初期の段階から遺伝子操作と心理操作を創造主やダークピープルから受けていました。

これでは、地球人が自分の力で進化していく事は困難です。

しかも、人間の能力をはるかに超えるアトランティス・ダークピープルやオリオン人、闇のナソール人などが何重にも地球人を支配しているのです。

このような状況から、地球人が抜け出せないから、今回のアセンションは計画されたのでしょう。

まだ、純粋な愛を保ち続けている一握りの地球人を救い出すために、多くのスターピープル達も犠牲になりました。

もうこれ以上、誰も犠牲になる事は許されないはずですよ。」

私達の会話を聞いていた「愛で統一された宇宙」の創造主達が、第 17 評議会の創造主と話をしています。

「愛で統一された宇宙」の創造主は、様々な世界のダークピープルが地球人の中に簡単に入り込めることを問題視しているようです。

ビル族がその事について私達に教えてくれます。

「通常では、ダークピープルと地球人では、種族としての性質が異なりますから、複数のダークピープルが地球人と一体化したり、意識をコントロールすることはないのですが、私達が見ても、地球人はいとも簡単にダークピープルから操られたり意識を乗っ取られたりすることが多いようです。

これでは、ダークピープルの意識支配や攻撃から、その身を守る事はできません。

地球人は、他の種族にたいしてあまりにも無防備だと言えるでしょう。

しかも、元から地球にいるダークピープルだけでなく、異なる宇宙からやってきたダークピープル達に対してもあまりにも無防備ですから、意図的にそのコントロールを行なわれていたのではないかと考えているのです。」

確かにビル族から言われるとその通りです。

自分に力や権力を与えてくれるダークピープルに対してすぐに服従してしまいます。

「しかしビルよ、その様に地球人を無防備にすることは簡単にできるのですか。」

「簡単です。

ダークピープル達が一つの星を侵略するとき、その星の人々の遺伝子をあらかじめ操作することはよくあることです。

地球人の場合はあらかじめその様に遺伝子が操作されていたようです。」

私達が話をしていると、「愛で統一された宇宙」の創造主達が戻ってきました。

「お待たせしました。

皆さんの宇宙の第 17 評議会の創造主と話をしてきました。

皆さんの創造主は、「愛で統一された宇宙」との扉を開いて、皆さんの意識を成長させたがっていましたが、皆さんたちが「愛で統一された宇宙」の一員になる事は望んではいなかったようです。」

私達の宇宙のスターピープル達が「え〜」というような顔をします。

「第 17 評議会の創造主は、皆さんを成長させた後も、自分達の支配下に置くために、皆さんの進化を妨げようとしていたようです。

その為に、地球が完全にアセンションして光の地球にならないように、様々な妨害を行なっていたようです。もし地球が、「愛で統一された宇宙」の一員になってしまえば、皆さんの宇宙の星の人々、スターピープル、創造主達も全て「愛で統一された宇宙」の一員になる事を願う事でしょう。

第 17 評議会の創造主は、創造主やスターピープル達まで自分の元を離れていく事に大きな抵抗を感じていたのです。

しかし、そのために地球のアセンションの進行を遅らせる事は、創造主としてあるまじき行為であると私達は戒めました。」

「「愛で統一された宇宙」の創造主よ、ありがとうございました。

これで今までの謎がすべて解けました。

第 17 評議会の創造主達の言動は、何か統一性がなく支配的だったのですが、まさに自分達の支配を誰にも奪われなくなかったのですね。」

「そういう事になりますね。

しかし、もう一つ問題が残っていました。

それは光 40%台の世界に対する対処の問題です。」

ここで「愛で統一された宇宙」の創造主は口を閉ざしました。

PART4 壊滅する光 40%台の世界

私達は、光 40%台の世界がどうなっていくのか、第 17 評議会の創造主に意見を聞くことにしました。

現在、光 40%台の世界には、「愛で統一された宇宙」とは異なる宇宙がゲートを開いています。

この宇宙は、ある意味「やりたいことをやりなさい」という考えを持つ創造主達によって統治されている世界です。

ある意味、放任主義の創造主と言ってもよいかもしれません。

自分の好きなこと、自分の望むことを好きなだけやりなさい、その代り、それによって生じた責任は自分で取らなければなりませんよ、という世界です。

今までの地球とよく似たところもありますが、今までの地球よりも、多くの人達が自分勝手に行動するようになるでしょう。

私は、第 17 評議会の創造主に来てもらい、光 40%台の世界をどのようにするつもりか聞いてみました。

「光 40%の世界は、新たな創造主達が指導しますので、地球はこれから大きく変わる事でしょう。

人々はダークピープルの力を得て自分のやりたいことをやる世界になるでしょう。」

そして、第 17 評議会の創造主は黙りました。

私は、「流れをつくる創造主」に来てもらい、光 40%の世界の未来を見せてもらいました。

およそ 100 年後の世界は、地球人とダークピープル達がお互いの領土の奪い合いをしている世界です。

地球人もいくつものグループに分かれ、地球人の領土の中でもお互いが争っていますし、テロのような殺戮行為が至る所で起きています。

そして、地球人の各種族が、自分達の領土に入り込んでいるダークピープル達と闘っているようです。

ダークピープルの方は、組織化されていて武力も進化し、地球人を圧倒しているようです。

戦いが進むと、多くの地球人は撃退されていき、残された地球人は地下や廃墟の中に隠れて、抵抗しています。

地球の自然はほとんど破壊されていて悲惨な光景が目に見えます。

「第 17 評議会の創造主よ、今のままでは、光 40%台の世界は、地球人同士が争い、やがてダークピープルによって支配されてしまう世界になりそうです。

これでは、地球人が進化してアセンションした世界に入ってくるのは難しくなるでしょう。」

「いえ、地球はそのようにはならないでしょう。」と第 17 評議会の創造主が言いました。

「それでは、どのようになるのですか。」

「人々の魂は全て私達が回収しようと思っています。」

私達の周りにいた創造主達も驚いています。

「第 17 評議会の創造主よ、それは戦争や自然災害によって、人々を全て死滅させるという事ですか。

光 40%台の世界を消滅させるという事ですか。」

「皆さんの言葉でいうとその様になります。」

私達は、暫く沈黙しました。

「愛で統一された宇宙」がその沈黙を破ります。

「第 17 評議会の創造主よ、あなたは自分の創造が失敗したことを悔やんで、その世界を消滅させようとしているようですが、一度創造された者達の生命を奪う事は許されるべきことではないのです。

お考え直し下さい。」

私は、第 17 評議会の創造主を生みだした第 18 評議会の創造主達を呼びだすことにしました。

いつも第 17 評議会の創造主の事で相談すると、それは私達が処理すべきことではない、「愛で統一された宇宙」の創造主に任せてあると言っていた第 18 評議会の創造主ですが、今回ばかりは力を貸してもらわなければならないようです。

第 18 評議会の創造主は、うっすらとした光の影のような姿で現れました。

まだ私達も、第 18 評議会の創造主の姿をはっきりとみることはできません。

「創造主達よ、そして TAKESHI さん達、ついにこの時が来たようです。

私達も第 17 評議会の創造主達の行いをずっと見守ってきました。

さまざまな創造を第 17 評議会の創造主は行ってくれました。

そのおかげで、多くの宇宙が生まれ成長していきました。

しかしながら、第 17 評議会の創造主達も、自分達の真実を見失ってきたようです。

暫く地球のアセンションからはなれてもらう事にしましょう。」

第 18 評議会の創造主はそのようにいうと第 17 評議会の創造主と共に消えていきました。

その後、私達のもとに、「愛で統一された宇宙」の創造主が報告に来ました。

「TAKESHI さん、第 17 評議会の創造主は、創造主としての権限を失ったようです。

今までの多くの功績は認められたものの、地球のアセンションにたいして、あまりにも不適切な行動が多かったことが問題となったようです。

これからは、私達が、皆さんと共に、皆さんの宇宙を治めていく事になりましたのでよろしくお願いします。」

「「愛で統一された宇宙」の創造主よ、全ての宇宙に生きる者の願いは、「愛で統一された宇宙」の一員として活躍することです。

私達もその様に願っています。

これからは、私達は皆さんと気兼ねなく共に行動できることをうれしく思います。

こちらこそよろしくお願いします。」

私達の会話を聞いて、全ての創造主やスターピープル達も喜んでいるようです。

私は、第 15 評議会の創造主を呼びだして尋ねました。

「皆さんの様子はどうですか、今第 17 評議会の創造主のポジションはどうなっていますか。」

「私達はとても自由です。

創造主の中には、第 17 評議会の創造主によって力を抑えられていた創造主もいたようですが、今はそのようなこともなく「愛で統一された宇宙」の創造主の導きの元、大きく成長できるのではないかと喜んでいます。

第 17 評議会の創造主のポジションは、今は空白です。

誰かがそのポジションを担うのか、新しく創造主が生み出されるのかは、第 18 評議会の創造主の皆さんがお考えになられるでしょう。」

私達の宇宙も最高責任者である第 17 評議会の創造主が退き、「愛で統一された宇宙」の創造主と共に歩む新たな時代が始まったようです。

第7章 光40%台の世界に開いた宇宙

PART1 私達のスピリットをさらった者達

私達は、第17評議会の創造主が退いたことにより、何の障害もなく地球の人々の感情開放や分離を進めることができるようになりましたが、決して問題が全て無くなった訳ではありません。

第17評議会の創造主が退いた翌日の明け方不思議な夢を見ました。

それは、私達の家で自然な方法で農業を試みている若者たちを目にしたので、私達は友達になるために、彼らの家を訪ねた時の事でした。

農業の事については話が合うのですが、社会の在り方やそのほかの話題では、私達と考え方が大分異なっているようです。

私が、あまり良くない状況だな、と感じて美樹さんと子供と一緒に帰ろうとすると、彼らのリーダー格の男性がやってきて私達を捕えるように仲間達に命じました。

私達は必至で逃げ回りましたが、彼らのグループに捕まえられてしまうところで、目を覚ましました。

このような夢を見た時は、必ずダークピープルや闇の創造主達によって、問題が引き起こされている時です。私は目覚めるとすぐにスターピープル達を呼びだしました。

「ロッド星人、ビル族すぐに私達のスピリットの状態を調べてください。

何か問題は起きていませんか。

それから光40%台の世界のダークピープル達の動きに変化はありませんでしたか。」

ロッド星人はすぐに私達のスピリットの状況を調べています。

ビル族は、周りのスターピープル達に声をかけて、光51%以上の世界の状況を調べに行っています。

「TAKESHIさん、やはりTAKESHIさんだけでなく美樹さんとお子さんのスピリットの一部が欠けていて見つかりません。

ダークピープルによって捕えられていると思いますので、すぐに探しに行きます。」

ビル族も戻ってきました。

「TAKESHIさん、光59%の世界でも、数名の方が同じようにスピリットの一部が奪われていることが分かりました。

そしてTAKESHIさん達の家族のシェンロン達も動きを封じられていましたので、これはダークピープルだけの仕業ではないようです。」

やはり、問題は大きいようです。

光40%台の世界は、もうすでに私達は自由に入ることができませんので、第14評議会、第15評議会の創造主の力も借りて、私達のスピリットの一部がどこに隠されているか調べることにしました。

夜になって私は仕事から戻ると、ロッド星人達に、私達のさらわれたスピリットの様子を尋ねました。

「TAKESHIさん、実に大変な作業でした。

私達は、もうこの世界にはいる事ができないので、上位の創造主の皆さんが、光40%台の世界に入り、迷路のような場所をさがして、ようやく見つけだしました。

本当に40%台の深いところに隠されていたので苦労しましたが、皆さんのスピリットを始め、数名の方のスピリットも救出できたようです。

これもまだ、現実世界の分離が完全に終わっておらず、その境界が不明瞭のままだからです。早くしっかりとした境界ができないとまた同じことが起きてきます。」

確かにロッド星人が言うとおりで。

このような事が何度も起きては、私達の身が持ちません。

私は第17評議会の創造主がいない現在、頼るべきところは第18評議会の創造主しかいませんので、創造主に相談することにしました。

「第18評議会の創造主よ、第17評議会の創造主が現実世界の境界をあやふやにしていたために、私達のスピリットが奪われるといった事が起きてしまいました。

光40%台に開かれた新しい宇宙のダークピープルによって、光59%の世界もかき回されています。

彼等が、私達の世界に関わり、アセンションした世界に行く人々にちょっかいを出さないようにできないものでしょうか。」

「確かに、彼らは光40%台の世界の人達にのみ関わるべきです。

私の方から、光40%台の世界に開いた宇宙の創造主達にこのことを伝えておきましょう。」

そうすると第18評議会の創造主は姿を消しました。

翌日、私が仕事の帰りに、美樹さんと電話で話していると見慣れない創造主が現われました。

「私は、地球の光40%の世界に開いた宇宙の創造主のリーダーです。

今回は、私達の世界のダークピープル達が、皆さんに大変ご迷惑をかけて申し訳ありませんでした。

私は、このことを謝罪しに来ました。」

私達は、光40%の世界に開いた宇宙の創造主が直接私達の前に現われるとは予想もしていなかったので大変驚きました。

私は、各評議会の創造主をお願いして、この創造主の事をしらべてもらおうと、間違いなく光40%の世界に開いた宇宙の創造主のようです。

「創造主よ、大変失礼しました。

まさか直接ここにいらっしゃるとは思いもしませんでしたので、あなたの事をしらべさせてしまった事をお許してください。」

「いえ、とんでもありません。

私達こそ、皆さんにお会いできてうれしく思います。」

この創造主はとても礼儀正しい創造主のようです。

「先ず皆さんの宇宙の事を私達は良く知りませんので、どのような宇宙なのか教えていただけませんか。」

「はい、私達の宇宙は、創造主があまり物理世界に介入することはありません。

皆さんの言葉でいうと放任主義という事になりますでしょうか、よほどのことが無い限り創造主が介入することはありませんので、私達の宇宙に存在する者達は、自由に行動しています。

しかし、自分が起こしたことの責任は自分自らが担わなければなりません。

私達の宇宙では、自由意志こそが最も尊重される物なのです。」

「その様ですね。」

これからの光 40%台の地球においてはとても素晴らしいことだと思います。

しかし、現実世界の境界があやふやであるために、皆さんの世界のダークピープルや創造主が光 51%以上の世界に関わってきているようですので、それはやめていただきたい。

光 40%台の世界の人達同士で何かをしあうのは良いのですが、その世界を越えないようお願いしたいと思います。」

「わかりました。

私達は、この地球のルールにまだ慣れていないようです。

私達の宇宙の星人達もあえて他の世界に入ってはいけないという事を十分に理解していなかったために、地球の人々の感情を通してどこにでも入って行けると考えていたようです。

大変失礼しました。

私は、戻りましたら、その事を星人達に伝えますのでご容赦ください。」

光 40%の世界に開いた宇宙の創造主は、私達に丁寧に礼をして立ち去ろうとします。

私はその姿を見て声をかけます。

「お待ちください。

どうか星人だけでなくあなたの宇宙の創造主の皆様にも、このことをお話ししてもらえませんか。」

私の言葉を聴いて、創造主はすこし怪訝そうな顔をしました。

「私どもの創造主は、この件には関わっていないと思いますが。」

「そうだとよいのですが、それでは少し調べさせてもらってもよいですか。」

私は、「流れをつくる創造主」を呼びだして、私達のスピリットが奪われた時をさかのぼってもらいます。

最初に映った光景は、私達が寝ている間にダークピープル達が私の家に入り込み、家族のスピリットの一部を切り離し持ち去るところでした。

私達の宇宙と新しく開いた宇宙のダークピープル（星人）の混合チームのようです。

そして次に映った光景は、私達のもとに忍び込むために、私達のシェンロンに特別な力を使って、その動きを封じ込めようとしている 3 人の創造主の姿でした。

PART2 3 人の創造主

光 40%の世界に開いた宇宙の創造主はその姿を見て驚いています。

まさか自分の宇宙の創造主がこのような事に手を貸しているとは思わなかったのでしょうか。

「これは、大変失礼しました。

この 3 人の創造主は紛れもなく私達の宇宙の創造主です。

彼等が、このような事をするとは、許しがたいことです。」

私は、創造主にたいして、私達のシェンロンの動きを封じた 3 人の創造主を呼びだしてもらうようお願いしました。

光 40%の世界に開いた宇宙の創造主は、急いでこの 3 人の創造主を私達の前に呼びだしました。

呼びだされた 3 人の創造主は自分達が行なった事がばれたことが気まずいようで顔を伏せています。

光 40%の世界に開いた宇宙の創造主は、気難しい表情で彼等を見ている。

「3人の創造主よ、あなた方がダークピープルを使って私達のスピリットの一部を盗み出したのはわかっていますが、何故そのようなことをしたのですか、教えてください。」

3人はしばらく黙っていましたが、1人が口を開きました。

「それは人々の望みだったからです。」

「望みとはどういう望みですか。」

「私達の世界の人々は、光を持つ人から光を分けてもらいたいと常に望んでいます。」

私達はその望みをかなえてあげただけです。」

「多くの人が望むからと言って、私達のスピリットの一部を許しもなしに奪って行っても良いと思っていますか。」

「光を持っている人が、他の人に分け与えるのは当然のことだと思います。」

彼等は、あまりにも自分勝手な理屈を述べていますので、私達もあきれてしまいます。

「それは光 40%の世界の人たち同士で行ってください。」

確かに、現実世界の境界線はまだしっかりと引かれているわけではありませんが、自分達の世界以外の人達に手を出すのはやめてください。」

3人の創造主は不服そうな顔をしています。

まるで反抗期の子供のようです。

彼等は、人々が望むことは何でも行ってもよいと考えているようです。

同じ 40%台の世界の人ならばそれは許されることかもしれませんが、他の世界の人達まで巻き添えにはしてはいけないルールがあります。

3人の創造主の様子を見ていた光 40%の世界に開いた宇宙の創造主が、3人の創造主が変わって私達に謝罪しました。

「TAKESHI さん、そして光 50%台の創造主の皆さん。」

大変申し訳ありません、この3人の創造主は私から厳しく言い聞かせますので、今回はお許しください。

私達の宇宙では、たしかにその様なことはよくありますが、皆さんの世界の人達には手を出さないように他の創造主にも厳しく伝えます。」

光 40%の世界に開いた宇宙の創造主は、3人の創造主を連れて急いで帰って行きました。

しかし3人の創造主の蛮行は収まる事はありませんでした。

翌日、美樹さんと子供がお昼寝をしている時、美樹さんは子供がさらわれる夢を見ました。

目を覚ますと、スターピープル達が忙しそうにしています。

ロッド星人が、美樹さんのもとにきて報告します。

「美樹さん、またあの3人の創造主とダークピープルが現われました。」

そしてお子様のスピリットをさらっていったのです。

私達も、しっかりと見張っていたために、さほど遠くに行く前にお子さんのスピリットを取り戻しましたが、これは大変なことです。」

私は、美樹さんからその報告を受けると、第 15 評議会、第 18 評議会の創造主を呼んだうえで、光 40%の世界に開いた宇宙の創造主に来てもらいました。

勿論、光 40%の世界に開いた宇宙の創造主も、この騒ぎは知っていますので、私達に対して大変申し訳ないという顔をしています。

私は、光 40%の世界に開いた宇宙の創造主に尋ねました。

「あなたは、あの 3 人の創造主に対して、私達の世界の人々に対して手出しをしてはいけないと厳しく伝えましたか。」

創造主は、失意を隠しきれない顔で答えます。

「はい、伝えました。」

「という事は、あの 3 人の創造主は、あなたの指示に従わずに今回の事を起こしたという事ですか。」

「そういう事になります。」

「それでは、あなたはこの 3 人の創造主に対してどのような処罰を行ないますか。」

創造主はしばらく口ごもっていますが、第 18 評議会の創造主をちらっと見るといいました。

「あの 3 人の創造主は創造主としての資格と能力を剥奪したいと思います。」

「そうですね、それではそのようにしてください。」

そして、その結果をあなたの宇宙の全ての創造主に伝えて 2 度とこのような事が起きないようにしてください。」

「わかりました。そうします。」

「もし、同じようなことが起きれば、地球の光 40%台の世界に開いたあなた方とのゲートは、第 18 評議会の創造主にお願ひして、閉じてもらう事にしますがよろしいでしょうか。」

「はい、分かりました。」

そういうと創造主は帰っていきました。

おそらくあの 3 人の創造主は、創造主として存在することはできなくなるでしょうが、彼らは決して特別な創造主ではなく、彼らの宇宙にとってはごく普通の創造主かもしれません。

考えてみれば、私達の宇宙を支配していた闇の創造主達に比べるとまだまだよい方です。

しかし、私達はこれ以上、アセンションの進行を遅らせる訳には行きませんので、妨げとなるものはすべて取り除いていかなければなりません。

光 40%台の創造主によるアセンションの妨害は、やはりこれだけではすみませんでした。

あの 3 人の創造主の弟子のような創造主から、感情エネルギーによる大きなサイキックアタックをうけたりしたこともありました。

また反対に、光 40%台の世界にいる私達の宇宙の創造主も、私達の光を求めてこっそりと私達のところにゲートを開いていたこともありました。

彼は、新しく扉を開いた宇宙の創造主の力がとても強いので、私達に助けを求めるために、私達の世界にゲートを開いたようですが、光 40%台の世界の創造主にとっては、この「自由奔放な宇宙」の創造主達に立ち向かう事が自分達の成長にもつながりますので、私達も少しばかりのアドバイスを行ったとしても、彼らの事を助けてあげることはできません。

また、彼等が開いたゲートから、たくさんのダークドラゴンが、私達の世界に入り込み、その処理に追われたこともありました。

しかし、私達は光 40%台の創造主やダークピープルの干渉に悩まされながらも、光 56%以上の世界を完全にアセンションさせるために、前に進んでいきます。

光りの世界の区分（極秘事項）

○光りの世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に応じていくつもの地球に分かれていることをお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

地球の光と闇の割合は、およそ光40%、闇60%、現在はもう少し光の割合が多い世界のようなようです。

この割合の世界では、闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなりますが、まだ学びが必要な人には、その学びにふさわしいことが起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つけることではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなく意思疎通ができるようになりますので、嘘を言ったり心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切なことは、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

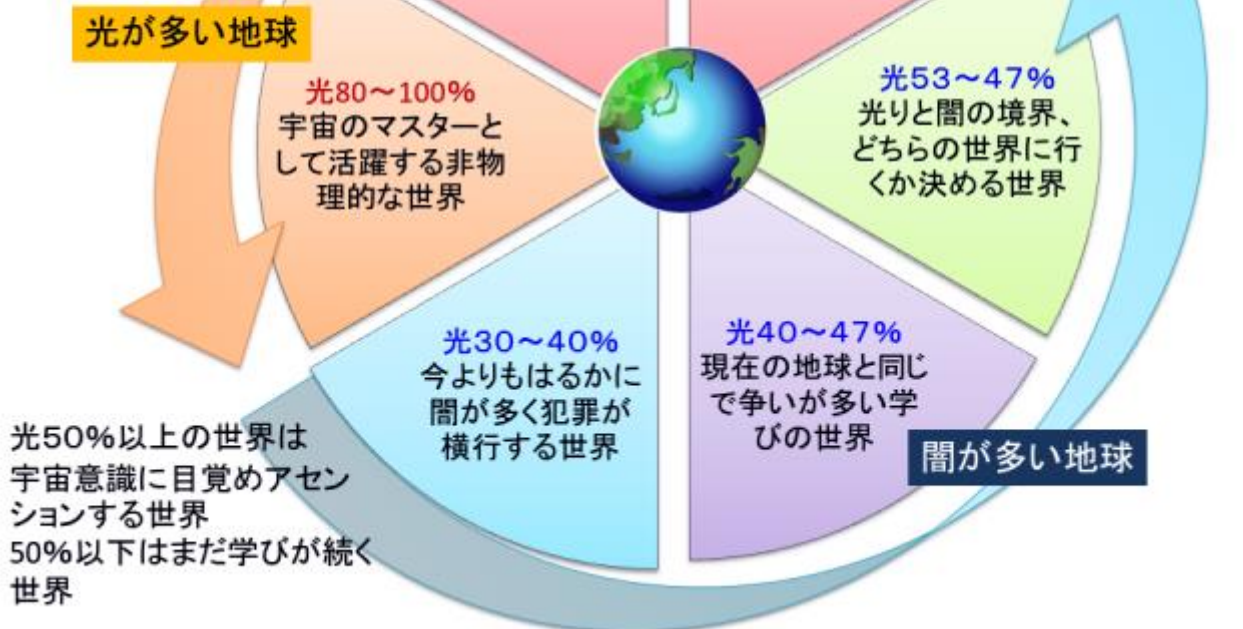
生きている人では70%台が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が80%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、宇宙の運営に関わる仕事を始めることでしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこのことは、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。

人間は自分の心の光の状態に応じていく世界が決まります。
 学びが多い世界も愛と調和に満ちた世界も、全てあなたのために必要な世界です。



光50%以上の世界は宇宙意識に目覚めアセンションする世界
 50%以下はまだ学びが続く世界

<p>光90%台の世界 宇宙のマスターの世界</p>	<p>宇宙の管理者として働くスピリチュアルな存在達の世界。 憎しみや争いなどとは無縁で愛と調和のみが存在する世界。 また宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 自らが愛と光りになるために学びを行うスピリット達の世界。</p>
<p>光80%台の世界 宇宙と地球に生きるマスターの世界</p>	<p>宇宙のために働くスピリチュアルな領域に生きる人々。 自らもスターピープルとなり、宇宙の中にある様々な問題の解決のために働くことを喜びとしているスピリット達。 ここに入る人は、宇宙で起きていることを深く理解し、常に真実を求め努力してきた人。 地球においては、地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きる人々を自由で平和な者にするために常に努力してきた人々。 この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人たち。 人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人達。</p>
<p>光70%台の世界 物理的な光の地球での指導者の世界</p>	<p>光80%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う人々。 またスターピープルのことを深く知り、彼らと共に働ける人。 自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p>

	<p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。 現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人たちが光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。 60%台の世界の学びを終えてからこの世界に来ることが多いようです。</p>
<p>光60%台の世界 地球では光の世界として新しく生まれた世界。 宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>60%台の後半の人は・・・ 常に正義と愛のために生きてきた人。 欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。 スターピープルのことを理解し上手に付き合うことができる人 この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、肉体をもって学びを行う人たちが入る世界。 少数民族の人たちの仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。 ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>60%前半の人は・・・ 光の世界にはいる為の教育が行われる世界。 地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。 しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分に実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。 周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープルの事もよく知らない人達が、学びを行うための場所。 この世界では争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。</p>
<p>光56%～59%の世界 光が多い学びの世界</p>	<p>この世界からアセンションした世界としてスターピープル達により保護される世界になります。 今の地球よりはさらに光がある世界で、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、愛と調和に満ち、自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく世界となるでしょう。 この世界に行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人達です。 そして、地球人としての進化を望む人がこの世界に入り、光の世界へ入るための学びを行います。 この世界の学びは「愛の実践」です。 宇宙の愛を身につけ、人のために奉仕することがこの世界の学びとなります。 この世界で学びを終わった人は、本格的なアセンションの世界である光60%以上の世界に生まれ変わります。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争うことが好きな人は入れません。 人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れません。</p>

<p>光 5 1 % ~ 5 5 % の世界 光と闇の境界の世 界 光の度合いはイラ ストとことなりま すが、こちらの度合 いが最新です</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。現在の地球よりは、光が強くなりますので、戦争や虐待などはすこしずつ減ります。時間がたつにつれ、現在よりはまともな政治家や経済人が現れ、社会の変革も進むでしょう。</p> <p>この世界にはいる人は、戦争や支配、抑圧のある世界を嫌っている人で、もっと愛に満ちた世界、調和のある世界に入りたいと考えている人達です。</p> <p>また他人のために役に立ちたいと思い行動している人や他人に親切にすることが好きな人達がこの世界に入ってきます。</p> <p>ただしこの世界には、狡猾な地球外存在達もすでに入り込んでいるので社会の混乱や自然災害も起こりますので、その様なことを乗り越えていく事が、この世界の人々の学びとなります。</p> <p>ヒーリングやスピリチュアルな仕事をしている人でも、人々の幸福のために働いている人は、この世界に入りますが、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行くこととなります。</p>
<p>光 4 0 % ~ 5 0 % の世界 現在の地 球と同じ学びの世 界 光の度合いはイラ ストとことなりま すが、こちらの度合 いが最新です</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験することとなります。</p> <p>現状の世界を好みお金儲けやぜいたくな生活をした人達、人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人達は、この世界にそのまま残るようです。</p> <p>他人を支配をしようと思う人、他人に依存したり、他人支配されることを好む人もこの世界にとどまります。</p> <p>この世界は多くの地球外生命体達も存在しますので、彼等の支配をうけず自立していく事が、この世界の学びとなるでしょう。</p>
<p>光 3 0 % 台の世界 闇が多い学びの世 界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。戦争やテロが多発し、多くの人々が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送ることになるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つことになると思います。</p> <p>この世界には、多くの欲望に取り付かれ、他人を支配したり傷つけることを好んで行ってきた人たちがいく世界になると思います。</p>